

縮尺 10 万分の 1

土地分類図付属資料

(香 川 県)

昭 和 48 年

経 済 企 画 庁 総 合 開 発 局

縮尺 10 万分の 1 土地分類図付属資料目次

利用者のために

A 土地条件等の概要

1. 地形区分とその性状等の概要	1
2. 表層地質の分布とその性状等の概要	4
3. 土壌統群の分布とその性状および生産力可能性等の概要	7
4. 土地利用可能性分級等の概要	9
4-1 土地利用現況の概要	9
4-2 土地利用可能性分級の地域別の概要	9

B 統計の部

1. 土地利用現況	11
1-1 土地利用現況別面積市町村別内訳	11
1-2 D、I、Dおよびね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳	13
2. 自然的土地条件	14
2-1 傾斜区分別面積市町村別内訳	14
2-2 標高区分別面積市町村別内訳	15
2-3 地形区分別面積市町村別内訳	16
2-4 表層地質分布面積市町村別内訳	18
2-5 土壌統群分布面積市町村別内訳	20
3. 土地利用可能性分級	21
3-1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳	21
3-2 土地利用可能性分級と自然条件との関連	22
3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連	22
3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連	22
3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関連	22
3-2-4 土地利用可能性分級と土壌生産力可能性との関連	22
3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要	24
3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳	26

利用者のために

1 編集方針

この付属資料は縮尺10万分の1土地分類図についての概要説明と面積統計とに分けられるが、面積統計については、原則としてそれぞれの縮尺10万分の1土地分類図の統計項目に対応した図幅について面積を測定し製表作成した。

たとえば2.1表「傾斜区分別面積市町村別内訳」は「傾斜区分図」(オーバーレイ)を市町村の行政区画単位に面積推定して作成したものであり、3-2-1表「土地利用可能性分級と地形区分との関連」は「土地利用可能性分級図」および「地形分類図」を用い、前者においては、土地利用可能性分級である類地のパターンを、後者においては地形区分のパターンをそれぞれ重ねあわせて面積を測定し、両者の面積的関連を把握して作成したものである。

ただし、1-2表「D. I. Dおおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳」は対応した土地分類図を作成しなかったため統計資料等によって作成した。

なお、1-1表「土地利用現況面積」は県統計資料により作成した。

以上両者の関連を示すと次表のとおりである。

統計表作成のために使用した土地分類図等の一覧

統計表の名称	土地分数図等の 名称	1 地 形 分 類 図	2 起 伏 量 ・ 谷 密 度 図	3 傾 斜 区 分 図	4 表 層 地 質 分 布 図 (平 面 的 地 分 類 図)	5 表 層 地 質 分 布 図 (垂 直 的 地 分 類 図)	6 土 壤 分 布 図	7 土 壤 生 産 力 可 能 性 分 級 図	8 図 (土 地 利 用 可 能 性 分 級 図)	9 土 地 利 用 可 能 性 分 級 図	11 標 高 区 分 図	12 都 道 府 県 統 計 資 料 等
1-1	土地利用現況別面積市町村別内訳											○
1-2	D. I. Dおおむね10万人以上の都市の 土地利用現況の内訳								○			○
2-1	傾斜区分別面積市町村別内訳			○								
2-2	標高区分別面積市町村別内訳										○	
2-3	地形区分面積市町村別内訳	○										
2-4	表層地質分布面積市町村別内訳				○							
2-5	土壌統群分布面積市町村別内訳						○					
3-1	土地利用可能性分級別面積市町村別内訳									○		
3-2-1	土地利用可能性分級と地形区分との関連	○								○		
3-2-2	土地利用可能性分級と傾斜区分との関連			○						○		
3-2-3	土地利用可能性分級と標高区分との関連									○	○	
3-2-4	土地利用可能性分級と土壌生産力可能性 との関連							○		○		
3-3	土地利用可能性分級別主要地域の概要	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3-4	土地利用可能性分級別市町村別内訳									○		○

II 利用上の留意事項

土地分類図の各図から測定された項目別パターンの面積は、各図の図示表現の技術的な制約、すなわち縮尺10万分の1の土地分類図の場合には最小図示単位として1km²（図上では10mm四方）を原則とし、特殊な場合においても最小径400m（図上で4mm）を限度としたため実在の面積とは一致しない場合もあると考えられる。

とくに、パターンの小さい性格をもつ分類項目にあつては、やや少な目に数値が出る傾向がある。また、道路、河川等はその周辺の分類に含まれるのでやや大き目に数値が出る傾向がある。

したがって、この統計表を各種資料として使用する場合には、項目ごとの絶対値を使用するのではなく概括的把握ないし項目の構成比率等を用いるようにされたい。

III 表中の記号について

- 「0」は数値が掲載単位に満たないもの
- 「-」は該当事項のないもの
- 「 」空白は編集時において資料がなく不明のもの

IV 県統計等の資料について

ア. 市町村別面積

県全体面積1867km²は全国都道府県市区町村別面積調（建設省国土地理院昭45年版）（昭和44年10月1日現在）により、単位はkm²とし単位未満は4捨5入を原則とした。

イ. 土地利用現況面積

（資料）

- 「農地面積」 1960年世界農林業センサスによる。
- 「草地」「林地」 林業属地基本調査結果（昭和40年1月1日現在）による。
- 「宅地」 県統計「土地概要調書」による。
- 「公共用地その他」 総面積より、農地、草地、林地、宅地面積を差引いた数である。

V 調査機関一覧表

	機 関 名	所 在 地
総 括	香川県企画部総合開発班	高松市番町4丁目1の10 (TEL 0878-31-1111)
地 形 分 類	香川大学教育学部	高松市幸町121 (TEL 0878-61-4141)
表 層 地 質	香川大学農学部	香川県木田部三木町池戸 (TEL 池戸 305)
土 壤	香川県農業試験場	高松市仏生山町甲220 (TEL 0878-31-1111)
	農林省林業試験場四国支場	高知市朝倉丁915 (TEL 0888-44-1121)
土 地 利 用 現 況	香川県企画部総合開発班	前 掲
土 地 利 用 可 能 性 分 級	香川大学農学部	前 掲

A 土地条件等の概要

1. 地形区分とその性状等の概要

本図に占める地域は、四国東北部に円弧状を成す讃岐半島に在り、図幅の北方は備讃瀬戸の浅海をへだてて岡山県と、南方は阿讃山地の分水界で徳島県と境界を接している。

西日本の地形は、東西方向と南北方向の地波の組合せでできているが、波頭が東西に続くものは中国山地と四国山地を曲降させた。南北方向を稜線とする地波は丹波山地～紀伊山地、讃岐半島～室戸半島、高縄半島～幡多半島、九州山地の隆起と敦賀湾～伊勢湾、播磨灘～紀伊水道、燧灘～土佐湾、伊予灘～豊後水道の沈降をもたらした。この地波は現在も運動を続けており、山はますます高く、海はますます深くなる傾向が認められ、地形の分布にもその結果が表われている。

本図幅にある地形の中で山地、丘陵地としては、南部の阿讃山地とその北方にある開析溶岩台地、台地としては、山麓台の性質を持つ上位台地とこれより低位にある下位台地、低地としては山地・台地の間にある河谷平野、山地の谷口を中心として展開する扇状地、河口付近にできた三角州、海底が隆起した海岸平野、海岸に波を打ち上げてつくった浜堤、また、塩田や埋立地などの人工地がある。

1.1 山地・丘陵地

1.1.1 阿讃山地

室戸半島へ続く地波の頂部にある阿讃山地は綾川上流と土器川上流との分水界にある焼尾峠付近を通る北北西～南南東の線を軸として、中央部が高く東西両端が低く、南部が急激に高く、北部が徐々に低く、半円型に撓む形式で隆起してきた。山頂部には平坦面の遺物を残す早壮年期末期の地形を示し、谷は深く刻まれたV字谷で谷床は狭く、河岸段丘はあまり発達していない。山地の大部分を構成する和泉層群は礫岩・砂岩・頁岩の互層から成るが、頁岩は他の岩石に比べ風化・浸食に対する抵抗が弱く、谷の斜面形が地層の配列に支配されたケスタ状の谷や、谷底平野の幅の広狭の分布状態、谷の縦断面形における勾配の変化にも差別浸食の結果が表われている。

1.1.2 開析溶岩台地

阿讃山地の曲隆にともない和泉層群の基礎盤である花崗岩類の浸食平坦面上に、北方に開く放射状の割れ目や断層を生じ、ここから火山活動が始まった。火山噴出物は火山砂・火山角礫から溶岩流に変わり、山地の北方に溶岩原が出現した。この溶岩は古銅輝石安山面の1種である讃岐岩質安山岩で、点在する基盤の残丘を残して火山噴出物で埋められた花崗岩類の浸食平坦面を覆ったのである。この溶岩は堅硬緻密で、その下にある火山性堆積層はもとより、火成活動のため破碎され変成した基盤の花崗岩類よりも風化・浸食に対する抵抗が強かった。そこで地盤隆起により復活した浸食の進行につれて、溶岩に覆われていない基盤の部分や溶岩の薄い部分などかつての高所がかえって浸食されるのが速くて低くなり、溶岩噴出の当時低所で溶岩が厚く覆った所が高く残るような地形の逆転があった。現在の讃岐半島の海に突出した溶岩台地の1部である岬や屋島・五色台・大麻山・城山など、いわゆるメサ地形の延長方向はこのような地形発達の結果を表わしている。

1.2 台地

1.2.1 上位台地

溶岩原が開析された後、この地形は阿讃山地の麓まで静水面に覆われた。その静水面下にメタセコイアなどの植物化石を含む泥岩の卓越した層が堆積した。徐々に阿讃山地が隆起し始め、この層の上に水磨された小礫の多い地層が堆積し、やがて山地の急激な隆起が開始された。粗大な扇状地堆積物が山麓の岩石扇状地

を覆って堆積した。これが上位台地の地形面である。当時の水陸の境界は堆積物の分布状態から西部では財田川中流付近、中部では滝宮・仏生山付近、東部では長尾・津田付近を連ねた線と考えられる。上位台地の分布は中部と西部に広く、東部に狭く、東部では地形面の開析が進み、堆積物がほとんど残存していない。上位台地は一般に丘陵状に開析が進んでいるが、本図では砂礫を残存している部分を上位砂礫台地とし、同一地形面と判断できても砂礫が残存せず基盤が広く露出している部分は多く山麓地に含めてある。

1.2.2 下位台地

その後の地盤隆起によって、上位台地の地形面は台地化し、その1段下位に低地ができた。この低地もその後の隆起によって下位台地となり、浸食谷で堀り込まれ、あるいは急激な地盤の増傾斜運動の結果、段丘交差のように沖積地に斜交してその下に埋没した部分も生じた。飯の山南方の岡田台地はその北端が土器川の扇状地の下に埋まり、由良山南方の仏生山台地東北端は春日川の沖積地の下に埋められている。下位台地の分布は土器川と香東川の河間地域にもっとも広く、西部では財田川の中流沿岸、高瀬川の中・上流沿岸に発達し、香東川から東部では、東方ほど範囲が狭く、与田川以東にはほとんど分布していない。開析は中部がもっともおくれ、平坦面が広く残り、西部では比高が低く沖積地に埋められている所もある。高松平野南部から長尾付近では階段状に南から北へ数段に分かれて低下している。

1.3 低地

1.3.1 扇状地性低地

下位台地の平坦面が形成された後、讃岐半島の中部が高まり、その両端側に接する高松・丸亀低地の1部がやや沈下し、西部はあまり上昇せず、東端や阿讃山地から距った北縁の地域は、下降するような増傾斜運動があった。そこで低地の分布は半島中央部の台地卓越地域の東西両側、高松・丸亀低地に広く、半島の東西両端では狭くなっている。礫層で覆われた扇状地性低地の分布は作田川・財田川・土器川・綾川・香東川・春日川・溪川・馬宿川など比較的大きい川の沿岸に分布するが、礫層の下に砂・粘土の存在する所が多い。また、山地の谷では基盤が河床に露出し、谷床の堆積物は極めて薄い。低地の地表には明瞭な分水界がなく、現河床は粗大な礫を運搬しており、低位の段丘崖が河道に沿って発達し、地盤の増傾斜運動による浸食の復活を示している。

1.3.2 三角州性低地

地盤が増傾斜の傾向があるので扇状地性堆積物が広く分布し、三角州性低地はあまり広くない。もっとも広いのは、丸亀低地の北部と高松低地の東部である。高瀬川・大東川・本津川・春日川・新川・鴨部川・津田川など比較的流路が短かく、花崗岩類の丘陵や山麓地、台地などを水源地とする河川は勾配も緩く、運搬物も粒径が小でその下流部の沿岸一帯は砂・粘土が卓越し、三角州性低地となっている所が多い。

1.3.3 砂州・浜堤・自然堤防

本地域における河川沿岸の自然堤防は地形が極めて不明確でその範囲を適確に示すことができない。そこでこの地形として区分したのはおもに波浪の営力でつくられた浜堤や砂州である。岩石海岸の湾奥に打ち上げられた砂が岬と岬の間を浜堤としてつづった所が多く、志度・津田・大内・白鳥・引田など半島東部の各町の中心部は浜堤上の浜街道に沿ってできた街村から発達したものである。

1.3.4 人工地

この地域には、干拓地や塩田などの人工埋立地が多い。西部では大野原町・観音時市の海岸につくられた三豊干拓地・高瀬川・下流の内湾を干拓した新田や塩田、丸亀市・宇田津町・坂出市の近世以降に造成された大塩田や最近の埋立による工業団地、高松市の新旧塩田や干拓地の新田などは著名である。また、戦時中

に造成された高松飛行場や近年の宅地造成による人工地もかなり面積が広い。

高 桑 糺 (香川大学教育学部)

2. 表層質の分布とその性状の概要

2.1 表層地質の分布について

香川県内にみられる主な地質を下位のもの（古いもの）からあげると、

- (1) 変成岩類（古生層）
- (2) 花崗岩類・玢岩類・斑岩類
- (3) 白亜紀層
- (4) 第三紀層
- (5) 各種火山岩類およびその碎屑岩類
- (6) 第四紀層

に分けられる。

2.1.1 変成岩類

本層は、粘板岩・硬砂岩・輝緑凝灰岩などの古期堆積岩が、著しい花崗岩化作用をともなった深成作用に関連して生成された変成層であり、いわゆる領家変成岩と同様のものである。原岩から判断すると、化石は産しないが、本層は、古成代に層する山口層群に対比さるべきものである。本県には、未変成の古生層は存在しない。本県に分布するものとしては、低変成の変成粘土岩と高変成の雲母片岩と縞状片麻岩とが主体で、一部に結晶質石灰岩と変輝緑岩様のものが存在する。また従来煌斑岩とよばれていたものも、岩脈状捕獲岩で、変輝緑岩である。本県各地に patch 状に分布する。

2.1.2 花崗岩類・玢岩類・斑岩類

本県の花崗岩の大部分は、いわゆる領家変成にかんよした領家花崗岩であり、東西方向の片状構造をもつ花崗岩閃緑岩である。また、瀬戸内中軸帯より北側の島嶼部には、中国型花崗岩と類似の白亜紀花崗岩が分布する。このものは黒雲母花崗岩である。領家花崗岩類には、古期と新規とがあり識別困難であるが、細粒黒雲母花崗岩と閃緑岩は、明らかに新期のものであろう。この他岩脈として、やや後期の角閃岩・石英斑岩・花崗斑岩・文象斑岩・半花崗岩などがある。

2.1.3 白亜紀層

県内にみられる中生層は、白亜紀層のみで、いわゆる和泉層群の名で一括されているものである。南部の讃岐山脈を構成し発達している。領家花崗岩類を不整合におおって下位より(A)砂岩・礫岩層 (B)黒色泥岩層 (C)砂岩・泥岩互層 (D)黒色泥岩層と分けられる。

(A) 砂岩・礫岩層

本層は和泉層群の基底部をなすもので、花崗質砂岩・礫岩および緑灰色砂岩よりなり、全体として、50～500mの厚さで、水平的に層厚および岩相の変化が激しくとくに各部層に亘り膨縮が著しい。

(B) 黒色泥岩層

A層を整合に被覆し、見かけ上2000～3000mに達す黒色泥岩を主とする地層で、層理の判然としない泥岩質のもので、風化すると細片になりやすい。

上部になるに従って砂岩・礫岩と互層になる傾向がある。

(C) 砂岩・泥岩互層

砂岩優勢の砂岩・泥岩の互層で、全層厚は2000～3000m内外、中位の層準に頁岩は、層理が鮮明である。砂岩は極めて堅硬で、灰白色～灰色の中粒～粗粒のものである。

(D) 黒色泥岩層

本県に僅かに分布するにすぎない。中粒～細粒の砂岩の薄層をはさむ。

2.1.4 第三紀層

本県の第三紀層は、新第三紀層であって、海成の中新統と陸成の湖沼性堆積物である。いずれも分布はせまい。海成の中新統は、小豆島および豊島の北部に僅かに分布し、粗悪な褐炭を埋蔵しルーズな砂岩および泥岩の瓦層で、一部に凝灰質岩がある。岡山県および淡路島方面の中新統と同様のものである。

鮮新統はメタセコイア植物群の産出により特徴づけられる湖沼成層で、泥岩および砂岩の瓦層よりなる。耐圧強度 $60\sim 100\text{ kg/cm}^2$ 位で、軟岩の状態にある。本県西部の讃岐山脈の前縁丘陵を構成し発達している。この鮮新統は、本県各地の沖積平野の地下および瀬戸内海海底にも分布発達している。

2.1.5 各種火山岩類とその碎屑岩類

県内の各種火山岩類は、いわゆる瀬戸内火山に属する火山岩類で、中新世末期の噴出物と考えられる。代表的なものとして、讃岐岩・讃岐岩質安山岩・黒雲母安山岩・流紋岩などがあげられる。岩脈・ピュート状またはメサ状の山形をつくり分布している。

各種火山岩については、できるだけ区分し、また鉱物成分等についても、凡例に詳述してあるので、分布性状については、表層地質図を参照されたい。

2.1.6 第四紀層

本県の第四紀層は、洪積層と沖積層に分けられる。洪積層は、いずれも河成堆積物ないしは、湖沼性のもので、海底のものはない。県西部では、讃岐山脈の北麓に、東部では讃岐山脈の前縁をなす花崗岩丘陵地の北麓に、また全体的に花崗岩および各種火山岩の丘陵地間を充填するような形で台地をつくり発達している。

これらの台地は、主として砂礫・粘土から成り、大まかにみて、高度的に三段の台地が識別できるが、三段の識別困難なところもあり、ここでは、低位と高位との二段に分けることにする。

高段堆積層は、 $120\sim 300\text{ m}$ の台地で、その台地面は一部浸食面であり、主として礫層からなる。礫はほとんどクサリ礫化し、マトリックスの赤色土と共に極めて特徴的である。本礫層は、恐らく隆起・解析された扇状地堆積物であろう。

次に低位の下段堆積層は、 $70\sim 100\text{ m}$ 前後の台地をつくり、主として砂礫・粘土からなる。扇状地堆積物～旧河川のはんらん原堆積物の堆積面であろう。

沖積層は $10\sim 30\text{ m}$ 程度の厚さで、砂礫および粘土からなり、平野部・河川沿い、海岸沿いに分布している。扇状地堆積物、はんらん原堆積物、三角州堆積物、谷底平野堆積物等よりなる。

2.2 垂直的分類について

2.2.1 風化状態

本県の全地層群について、風化殻の発達状況を調査した。この調査に基づき α （約 3 m 以浅）浅い、 β （約 $3\sim 10\text{ m}$ ）中位、 γ （約 10 m 以深）深いに分けてみると、変成岩類はその分布がせまく、ほとんど α 程度の風化状態であったが、雲母片岩のみ β 程度を示した。

次に、花崗岩類であるが、この場合には、岩石の組織・鉱物成分上の差異および地形的要素が強いようにみられた。

ほとんどが、マサ状に γ 程度の風化状況であるが、同じ γ でも、とくに優黒質の閃緑岩、花崗閃緑岩などもまた粗粒なもの程深い風化状況を示した。細粒花崗岩の一部は β 程度の風化状況であり、地形的にみると、高度 200 m 以下の老年期丘陵では、全部深層風化し、風化層も山形に服従せず、風化殻の発達レベル以上になっている場合が多い。 300 m 以上の場合、風化層は山形に服従し、同じく γ であるが、やや浅い。

400 m以上では、 β 程度の風化殻をもつ。このように同じ花崗岩でも地形的に差異がみられた。

白亜系の和泉層群についてみると、下位の砂岩は花崗岩質砂岩で $\alpha \sim \beta$ 程度、泥岩類も β 、その他の砂岩類および砂岩・泥岩瓦層帯は α 程度であった。

第三紀層は、固結不充分（半固結）と相まって風化に対する抵抗も弱く、ルーズな砂状または軟岩の状態にある。中新統では $\beta \sim r$ 、鮮新統では r 程度であった。

次に、中新世末期に噴出にかかわる凝灰岩類・集塊岩類・各種安山岩類について述べる。

凝灰岩類で β 程度、集塊岩類で $\alpha \sim \beta$ 、各種の安山岩類ではほとんど α 程度であるが、黒雲母安山岩とハリ質の流紋岩とが、風化進み、前者が $\alpha \sim \beta$ 、後者が β 程度を示した。

2.2.2 沖積平野の地下地質

本県には、高松、丸亀～坂出、三豊の三平野が発達している。基盤はいづれも花崗岩類で、その深度は、深い所で三豊平野では100～140 m、高松平野では150～200 mとなり、一般に花崗岩の露出地に向かって浅く、離れるにつれて深くなる傾向にある。

地下の花崗岩潜丘の位置は、地上における花崗岩丘陵の方向に密接な関係がある。また、地下花崗岩潜丘の谷部が地上における河川と密接な関係にある。密接な関係とは、一致するか、並行することである。

基盤花崗岩の上に、三平野とも鮮新統の湖沼成層があり、海成の中新統は分布していない。

次に洪積世の沈水性扇状地堆積層が発達し、次に沖積層となる。三平野とも、地下の地質は上述のようなOrderである。

齋 藤 実 （香川大学農学部）

3. 土壌統群の分布とその性状および生産力可能性等の概要

3.1 山地の土壌

香川県の山地は、南部の徳島県境に沿って東西に広がり、中央部が高く東西に両側が低く、北部に徐々に高度を下げ、前山丘陵に接している。山頂の大部分は中生代白亜紀の和泉層群によって構成されている。地形はやゝ急峻で山地を刻む谷はV字谷を形成しているが斜面長は比較的長い。この地域の山頂、尾根筋には乾性、中腹斜面には弱乾性の乾性褐色森林土壌が広く分布し、谷底斜面では適潤性の褐色森林土壌が分布する。これら斜面上における土壌の分布割合は地域によって多少その趣を異にし、東西両域にくらべて中央部では褐色森林土壌の分布が相対的に広い。とくに龍王山、大滝山を中心とする山地では通水、透水性の良好な崩積性の褐色森林土壌が出現する。また、この地域の乾性褐色森林土壌は弱乾性土壌の分布割合が優占し、後述の丘陵地に出現するものにくらべて生産性はやゝ高い。谷底の平坦面には局所的に湿性褐色森林土壌が出現するが、その分布範囲は極めて狭小で1/10万の縮尺では図示できない。この谷底平坦面の大部分は水田として利用され、主として灰色低地土壌または褐色低地土壌となっている。また中央部山地では、山腹に棚状緩斜面が点在するが、このようなところには集落が発達し、畑地として利用がさかんで人工改変土壌としての黄色土壌が出現している。

3.2 丘陵地の土壌

南部の山地の北側には花崗岩類からなる高度400～600mの前山丘陵があり、さらにその北部には花崗岩類を貫いて噴出した熔岩原が開析されたメサやピュート群を含む200～400mの低山性丘陵が発達する。またこの丘陵地の間には未固結堆積層に被覆された台地上の平坦面が存在する。海岸に面した地域では波浪の浸食を受けて急崖地の形成がみられ、また山頂部の噴出岩類に覆われた地域にも一部に断崖上の岩石地が見受けられる。海岸およびその周縁の丘陵地と島嶼部では強度に表面浸食を受けた残積性未熟土壌が分布する。これらの地域は地理的条件が良好なため、古くから薪炭材としてのひん度の高い伐採のくり返しや林地の落葉落枝の採取などによって森林の物質循環がつねに乱され、さらに瀬戸内の乾燥気候の影響とあいまって円滑な植生の発達を妨げてきた。このような粗放な森林の取り扱いによって林地の裸地化をまねき、地表面の浸食をはげしくし、土壌成熟とは逆に層位の不完全化がおこり、ついには受食欠層土壌となったものである。

丘陵地のうち凝灰岩および噴出岩類に覆われた部分を除く花崗岩類を基盤とする地域はその大部分が黄褐系の乾性褐色森林土壌となっており、適潤性の褐色森林土壌（黄褐系）の分布は谷底斜面の狭小な範囲に限定される。前述したような森林に対する人為の影響は、多少の差はあるが、丘陵地全域において一般的傾向と見られるが、とくに北部の低山性丘陵地ではその傾向が強く、ここに分布する乾性褐色森林土壌（黄褐系）は表面浸食をかなり受けてその断面形態は未熟土様の相が強い。したがって、この土壌は今後の森林の取り扱いのいかんによっては容易に未熟土壌（受食欠乏土壌）に移行する可能性をもっているため、このことを十分考慮に入れた施業が必要である。

花崗岩類の上部を覆う凝灰岩および各種噴出岩からなる丘陵山頂部には乾性褐色森林土壌が出現する。この土壌は南部の阿讃山地に分布する乾性褐色森林土壌とは異なり、層位の推移が不明りょうで、彩度が低く明度の高い灰褐～灰黄褐の土色が特徴的である。土性は埴質で極めて堅密な堆積をし、物理性の不良な土壌である。しかし、これらと同じ凝灰岩および各種噴出岩よりなる小豆島の星が城山、嶮岨山を中心とする山塊上部の緩斜面では、比較的良好的な水分環境下で生成された褐色森林土が分布し、林地土壌としての生産性もかなり高い。

城山、五色台などの山頂平坦面やその周縁部には噴出岩類の熱水風化に由来する赤褐～チョコレート色を呈する暗赤色土壌が出現する。

3.3 台地・低地の土壌

香川県における台地・低地は三豊平野・仲多度平野・高松平野・大川平野および島しょ地帯の5地域に大別され、それぞれ特徴を持っている。

三豊平野

高瀬川・財田川・様田川によって開析された沖積地を主体とし、第3紀の三豊累層の丘陵地とそれにつながる台地および丘陵地の間に細かく入り組んだ沖積地からなっている。

台地は赤黄色土壌・褐色低地土壌・細粒灰色低地土壌が分布している。赤黄色土壌は主として果樹園・普通畑として利用され、その生産力は比較的高い。褐色低地土壌・細粒灰色低地土壌は主として水田として利用されているが、下層土がややち密であるため土壌の物理性が不良のものが多く、そのため生産力はやや低い。

低地は主として和泉砂岩・頁岩・花崗岩を母材として堆積された平野で、河川の流域は粗粒灰色低地土壌で水田として利用されている。その生産力はやや低い。それ以外の灰色低地土壌は水田としての生産力は高い。グライ土壌はその生産力はやや高い。グライ土壌は海岸に近く小面積ずつ分布し、水田としての生産力は低い、最近では宅地・工場用地等に転用される例が多くなっている。

仲多度平野

土器川・金倉川によって発達した平野で、南部は丘陵・台地となっている。主として和泉砂岩・花崗岩を母材としている。丘陵台地は樹園地・普通畑として利用されている。赤黄色土壌・褐色低地土壌は水田として利用されているがいずれもその生産力はやや低い。

低地は粗粒灰色低地土壌・灰色低地土壌・細粒灰色低地土壌が複雑に交錯している。水田として利用されたのが最も古い地帯であり老朽化も進行している反面、生産力も高い水田が多い。海岸近く小面積粗粒グライ土壌が分布している。

高松平野

香東川・春日川・新川により発達した平野で南部の丘陵・台地は黄色土壌が主体である。低地の西部に細粒灰色低地土壌が分布する外は粗粒灰色低地土壌・灰色低地土壌が大部分を占め、特に粗粒灰色低地土壌の割合が三豊・仲多度平野にくらべ多くなっているのが特徴的である。

大川平野

与田川・湊川等の扇状堆積地で前記3平野にくらべると面積的にも小さい。細粒灰色低地土壌は和泉層群を母材とした谷間の地域に小面積分布する以外は灰色低地土壌・粗粒灰色低地土壌である。水田として利用されているが、その生産力も三豊・仲多度平野にくらべて低い。海岸に近くグライ土壌が分布するが耕土も浅く、水田としての生産力も低い。

島しょ地帯

畑は赤黄色土壌・水田は褐色低地土壌が大部分を占め、灰色低地土壌は極く一部に分布するに過ぎない。赤黄色土壌は腐植を欠くが酸度も低く、塩基含量も比較的多いが、瀬戸内沿岸の寡雨地帯であるので水分的な制約を受けるため生産力は低い。

井上輝一郎（農林省林業試験場四国支場）

真鍋武夫（香川県農業試験場）

大熊正寛（ " " ）

4. 土地利用可能性分級等の概要

4.1 土地利用現況の概要

香川県は、四国の東北部に位置し、南に高く北に低い地勢である。すなわち南は、讃岐山脈を背にして徳島県と接しており、北に向ってなだらかに傾斜し、讃岐平野を形づくっている。また、東・北・西の各方面は、おだやかな瀬戸の海に面し、西南に愛媛県に接している。東西92.1 Km、南北61.3 Km にのびた本県の面積は、1,867.08 Km² と全国0.5%を占めるに過ぎず、全国都道府県中大阪府に次いで二番目に小さい。しかし、本県の土地利用についてみると、急な山岳地帯がなく、しかもかなり広い讃岐平野を有するため、きわめて有効な土地利用がなされている。総体的にみた場合、山地と平地との面積は、ほぼ相半している。更に詳細に分類すると、臨海部は、新旧の埋立地が並び塩田と工業用地として利用され、高松、坂出、丸亀、普通寺、観音寺の都市部は、商業地を中心として、軽工業地、住居地を形成しており、現在道路網の整備と交通機関の発達に伴って市街地の拡大化がなされている。

平野部は、ほとんどが水田、畑地に利用され点在する山地、丘陵地帯は、傾斜面を利用して、みかん、ぶどう等の果樹園として利用されている。

山地部は主として森林であるが標高400m附近までは、アカマツ、クロマツを主とした針葉樹林におよわされており、600m以上では、主として広葉樹林である。阿讃山地の谷底低地では、かなり奥深くまで水田となっている。北部の丘陵地はクロマツを中心とした天然林が多いが、その成長は悪く用材としての期待はうすい。むしろ、この地域では、果樹園の利用が大きく、現在もお大型機械の導入によって果樹園の造成が盛んに行なわれている。

島しょ部は、小豆島をはじめ直島諸島、塩飽諸島からなり、比較的大きな島として、小豆島、豊島、直島、女木島、本島、広島、手島、粟島などがあげられる。

これらの各島は花崗岩など石材の産地である。

水田は一般に少なく海岸の低地部に分布するにすぎない。畑地は割合多く、かんしょ、ばれいしょの栽培が盛んである。

小豆島、豊島には、みかんの栽培が盛んであり、一部オリーブの栽培もみられる。

地下資源についてみると、石質がよく産量もある花崗岩を除いては、特にみるべきものはなく、林産資源と共に劣勢である。

気候については、瀬戸内気候で四季を通じて温暖であり降雨量は極めて少なく台風の災害もあまり多くはない。

瀬戸内海に注がれる河川の流路延長は短かく、水量が乏しいので各地に溜池が築かれ、かんがい用に用いられている。

山 田 馨 (香川県企画部総合開発班)

4.2 土地利用可能性分級の地域別の概要

香川県における土地利用可能性分級等の概要をみると、Ⅰ類地は分布せずⅡ類地は東より高松平野、丸亀～坂出平野、三豊平野など沖積平野に多く分布し、その他丘陵地間の低地帯各河川沿いの河谷平野にも分布がみられる。これらの多くは、細粒灰色低地土壌と灰色土壌の平坦な沖積地で大部分が水田として利用されている。一部に台地を形成し、黄色土壌の分布もみられる。

Ⅲ類地はⅡ類地と類似する沖積平野の水田帯を主とし、その他周辺丘陵の縁辺部および台地の緩傾斜水田果樹園、普通畑を含み更に林地の一部を含む多様化した土地利用をみせる地帯である。Ⅲ類地の主体をなす沖積平野の水田帯は、主として、各河川沿いに分布がみられ、これらは、粗粒灰色低地土壌との一部灰色土壌からなっている。

Ⅳ類地は、本県で分布が最も広く、阿讃山地の前縁帯をなす花崗岩丘陵地および各種の火山岩類をのせた丘陵地域および島しょ部に分布し果樹園および林地として利用されている。本県の果樹園の大部分はⅣ類地にある。林地としては、針葉樹林の多い地帯である。

Ⅴ類地は、主として阿讃地地帯および前記の火山岩類をのせた丘陵地域に分布し、一部果樹園と利用されているが大部分林地地帯であり広葉樹林の多い地帯であるが一部針葉樹林もある。

Ⅵ類地は分布が極めてせまく小豆島山境の中央部に僅かに分布するにすぎず、針葉樹林の分布をみるが露岩地であり、利用価値は低い地帯である。

Ⅶ類地は阿讃山地に分布し、針葉樹～広葉樹林帯であるが急傾斜のため林地としての利用価値は低い地域である。

Ⅷ類地は、河川敷と市街化区域で、本県での市街化地域としては、高松、坂出、丸亀市が該当する。

以上のように土地利用可能性分級と土地利用現況の関連からみて、主要沖積平野の水田は大部分Ⅱ～Ⅲ類地に果樹園～普通畑の多くはⅢ～Ⅳ類地に、針葉樹林～広葉樹林ともⅣ～Ⅴ類に分布が広い。

齋藤 実（香川大学農学部）

B 統 計 の 部

1, 土地利用現況

1-1 土地利用現況別面積市町村別内訳(その1)

(単位 km²)

区分 市町村	農 田			畑 地					農 地 計	草 地			未 利 用 地		
	普通田	特殊田	計	普通畑	牧草畑	樹 園 地				計	永年 牧草地	自然 草地	計	草 地	計
						果樹園	桑園	茶園 その他							
高松市			56	4		9	1	10	70			0	1	1	
丸亀市			18	1		1	-	1	20			0	-	0	
坂出市			14	2		8	0	8	24			0	-	0	
普通市			13	0		3	0	3	16			0	-	0	
観音寺市			15	1		3	0	3	19			-	-	-	
市計			116	8		24	1	25	149				1	1	
引田町			5	0		0	0	0	5			0	0	0	
白鳥町			6	1		0	0	0	7			0	-	0	
内町			6	1		1	0	1	8			0	-	0	
大津町			2	1		0	-	0	3			0	0	0	
大川町			5	1		0	0	0	6			0	-	0	
志度町			7	1		1	0	1	9			0	-	0	
寒川町			5	0		0	0	0	5			0	-	0	
尾町			8	1		1	0	1	10			0	-	0	
大川郡計															
内海町			1	2		1	0	1	4			0	0	0	
土庄町			3	4		3	0	3	10			0	0	0	
池田町			1	2		1	0	1	4			0	0	0	
小豆郡計															
三木町			17	2		2	0	2	21			0	-	0	
牟礼町			3	0		0	0	0	3			0	-	0	
庵治町			1	1		0	0	0	2			0	0	0	
木田郡計															
塩江町			2	2		0	0	0	4			0	0	0	
香川町			7	1		0	0	0	8			0	-	0	
香南町			5	0		0	0	0	5			0	0	0	
直島町			0	0		0	0	0	0			-	0	0	
香川郡計															
綾上町			9	1		0	0	0	10			0	-	0	
綾南町			12	1		1	0	1	14			0	-	0	
園分寺町			6	1		1	0	1	8			0	0	0	
綾歌町			9	1		1	0	1	11			0	-	0	
飯山町			7	0		2	0	2	9			0	-	0	
宇多津町			1	0		0	-	0	1			-	-	0	
綾歌郡計															
琴南町			3	2		1	0	1	6			1	-	1	
満濃町			12	1		1	0	1	14			0	-	0	
琴平町			3	0		0	0	0	3			0	-	0	
多度津町			6	1		1	0	1	8			0	-	0	
仲南町			5	0		1	0	1	6			0	-	0	
仲多度郡計															
高瀬町			12	2		5	1	6	20			0	0	0	
山本町			6	0		3	1	4	10			0	-	0	
三野町			6	1		2	0	2	9			0	-	0	
大野原町			10	0		3	0	3	13			0	-	0	
豊中町			7	0		2	0	2	9			0	-	0	
豊託町			2	3		1	-	1	6			0	-	0	
仁尾町			1	0		4	-	4	5			0	-	0	
豊浜町			3	0		1	-	1	4			-	-	0	
財田町			5	0		3	1	4	9			0	-	0	
三豊郡計															
町計			209	34		43	3	46	289			1	0	1	
県計			325	42		67	4	71	438			1	1	2	

1-1 土地利用現況別面積市町村別内訳 (その2)

(単位 km²)

区分 市町村	林									地			除地	林地計	宅地	公共用地	その他	合計
	林			天然林			未立木			探採園に 利用してゐる	その他	計						
	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	計	探採園に 利用してゐる	その他	計									
高松市	13	1	14	26	7	33	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
丸亀市	0	0	0	14	4	18	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
坂出市	16	—	16	16	—	16	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
普通寺市	2	—	2	7	0	7	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
観音寺市	2	—	2	9	3	12	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
市計	33	1	34	72	14	86	0	4	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
引田町	19	—	19	12	4	16	—	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
島内町	14	1	15	17	16	33	0	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大津町	6	1	7	12	2	14	—	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大志度町	1	0	1	5	0	5	—	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
寒川町	21	0	21	2	0	2	—	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
寒川町	3	1	4	15	0	15	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
寒川町	4	—	4	6	2	8	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長尾町	10	0	10	9	7	16	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大川郡計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
内海町	6	0	6	16	21	37	0	6	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—
土庄町	14	0	14	27	7	34	0	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
池田町	7	0	7	14	3	17	0	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小豆郡計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三木町	13	0	13	13	9	22	0	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
礼治町	0	0	0	5	—	5	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
庵原町	2	0	2	7	—	7	—	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
木田郡計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
塩江町	18	0	18	7	35	42	—	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
香川町	1	0	1	3	2	5	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
香南町	0	0	0	1	2	3	—	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
直島町	3	5	8	2	0	2	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
香川郡計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
綾南町	12	0	12	13	19	32	0	4	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
綾南町	2	0	2	8	1	9	0	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
国分寺町	1	—	1	7	—	7	—	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
綾歌町	3	—	3	5	1	6	—	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
飯山町	1	0	1	3	0	3	—	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宇多津町	—	—	—	1	—	1	—	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
綾歌郡計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
琴南町	23	1	24	18	26	44	1	2	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
濃平町	7	1	8	17	0	17	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
琴平町	0	—	0	1	1	2	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
多度津町	0	—	0	1	2	3	—	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
仲南町	21	—	21	14	9	23	—	5	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—
仲多度郡計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高山町	3	0	3	14	0	14	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
山本町	2	0	2	11	1	12	—	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三野町	0	—	0	3	0	3	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大野原町	8	0	8	13	7	20	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
豊中町	1	0	1	3	0	3	—	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
詫間町	1	—	1	13	0	13	—	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
仁尾町	1	—	1	2	0	2	—	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
豊浜町	2	0	2	5	0	5	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
財田町	3	0	3	15	15	30	—	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三豊郡計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
町計	233	10	243	340	192	532	1	42	43	—	—	—	—	—	—	—	—	—
県計	266	11	277	412	206	618	1	46	47	—	—	—	—	—	—	—	—	—

1-2 D.I.D おおむね 10 万人以上の都市の土地利用現況の内訳

(単位 km²)

区 分 市	市 街 地 の 内 訳									市 街 地 外 の 内 訳						合 計	
	商 業 区	工 業 区			住 宅 地	そ の 他				市 街 地 計	農 地	草 地	林 地	宅 地	公 共 の 地 他		計
		重 工 業 地	軽 工 業 地	計		漁 業 区	運 輸 区	公 共 区	計								
高松市	3	3	4	7	17	0	2	2	4	31	70	1	48	3	41	163	194

2. 自然的土地条件

2-1 傾斜区分別面積市町村別内訳

(単位 km²)

傾斜 区分 市町村	0 ~ 3°	3 ~ 8°	8 ~ 15°	15 ~ 20°	20 ~ 30°	30 ~ 40°	40°以上	合 計
高松市	116.81	14.01	17.13	19.84	17.71	7.21	1.62	194.33
丸亀市	28.61		2.40	13.66	16.53	2.03	0.37	63.60
坂出市	37.83	4.26	10.92	14.12	11.99	8.70	0.98	88.80
普通寺市	21.38	2.02	3.73	5.03	5.27	2.40	0.75	39.68
観音寺市	37.41	1.08	0.83	1.38	3.46	4.58	2.15	50.89
市 計	242.04	21.37	34.11	54.03	54.96	24.92	5.87	437.30
引田市	14.49	1.45	1.94	2.90	14.49	11.84	0.98	48.09
白鳥町	12.48	2.45	5.62	14.21	19.18	15.43	2.77	72.14
大内町	10.93	2.66	3.66	6.55	6.31	4.38		34.49
津田町	5.23	0.20	0.81	2.01	2.21	1.41	0.21	12.08
大川町	4.30	4.30	3.90	6.20	9.10	5.34	1.69	34.83
志度町	15.10	1.91	4.80	7.41	6.44	2.89	0.47	39.02
寒川町	7.26	2.90	2.90	2.67	4.11	1.70	1.45	22.99
長尾町	11.93	2.07	9.59	6.74	10.92	3.35	1.28	45.88
大川郡計								
内海町	6.56		1.22	6.81	34.73	8.78	3.37	61.47
土庄町	15.03	1.41	5.81	16.82	22.62	10.34	2.38	74.41
池田町	4.37		2.42	6.54	18.16	2.17	0.72	34.38
小豆郡計								
三木町	29.00	4.48	12.73	15.04	11.57	3.79	0.47	77.08
牟礼町	5.79	2.92	3.15	2.67	1.94			16.47
庵治町	3.00	0.93	3.00	3.26	3.71	0.93		14.83
木田郡計								
塩江町	11.23	0.49	6.10	11.23	22.20	18.67	10.18	80.10
香川町	14.75	2.99	5.74	3.74			0.25	27.47
香南町	6.24	2.00	2.26	3.74	0.50			14.74
直島町	3.37			0.90	9.62	0.21		14.10
香川郡計								
綾上町	5.28	1.85	8.70	28.54	15.41	8.70	2.89	71.37
綾南町	21.10	2.40	5.39	7.34	1.49	0.50		38.22
国分寺町	6.20	3.95	3.95	4.50	3.95	2.96	0.49	26.00
綾歌町	9.41	3.05	2.03	7.10	3.81	1.78	0.25	27.43
飯山町	11.17	0.73	1.95	3.64	1.22	0.73	0.23	19.67
宇多律町	5.40	0.19	0.19	0.77	0.58	0.19		7.32
綾歌郡計								
琴南町	10.97	1.23	0.98	7.74	25.13	26.46	10.73	83.24
満濃町	28.61	4.68	5.75	10.96	3.51	0.12		53.63
琴平町	5.06	0.25		0.96	1.69	0.48		8.44
多度津町	12.84	0.23	0.23	2.33	3.03	2.58	1.16	22.40
仲南町	7.70	5.00	4.00	6.46	14.16	16.45	5.00	58.77
仲多度郡計								
高瀬町	14.69	9.40	6.36	6.59	11.15	7.37	0.73	56.29
山本町	7.34	3.31	2.39	5.68	7.14	5.45	1.89	33.20
三野町	7.58	3.55	0.75	2.27	2.80	1.77	0.51	19.23
大野原町	18.65	1.38	0.25	3.70	9.77	12.34	3.26	49.35
豊中町	11.37	2.66	0.73	0.97	0.97	1.92	1.21	19.83
豊詫間野町	7.55	2.06	1.60	5.28	7.10	5.51	1.60	30.70
仁尾町	0.98	1.69	1.45	1.70	3.16	4.63	2.18	15.79
豊浜町	6.38	2.55		0.26	1.79	4.84	1.27	17.09
財田町	5.86	6.85	2.74	4.91	10.54	11.24	5.10	47.24
三豊郡計								
町 計	385.20	90.17	125.09	231.14	326.21	207.25	64.72	1,429.78
県 計	627.24	111.54	159.20	285.17	381.17	232.17	70.59	1,867.08

2-2 標高区分別面積市町村別内訳

(単位 km²)

標高 区分 市町村	m								合 計	備 考
	0~100	100~200	200~400	400~600	600~800	800~1,000	1,000~1,500	1,500~		
高松市	162	24	8						194	
丸亀市	47	15	2						64	
坂出市	53	16	12	8					89	
善通寺市	27	5	15	3					40	
観音寺市	31	8	7	3	2				51	
市 計	320	68	34	14	2				438	
引田町	19	13	8	6	2				48	
白鳥町	30	17	13	8	4				72	
大内町	19	11	5						35	
津田町	7	4	1						12	
大川町	13	10	8	3	1				35	
志度町	24	10	5						39	
寒川町	10	6	4	2	1				23	
長尾町	22	8	6	6	4				46	
大川郡計										
内海町	17	15	14	11	5				62	
土庄町	21	19	16	15	3				74	
池田町	10	12	8	3	1				34	
小豆郡計										
三木町	36	14	12	19	6				77	
牟礼町	8	7	2						17	
庵治町	8	6	1						15	
木田郡計										
塩江町		6	26	23	20	5			80	
香川町	11	10	7						28	
香南町	9	6							15	
直島町	13	1							14	
香川郡計										
綾上町	2	10	35	23	1				71	
綾南町	12	25	1						38	
国分寺町	17	6	3						26	
綾歌町	15	10	2						27	
飯山町	17	2	1						20	
宇多津町	6	1							7	
綾歌郡計										
琴南町		3	25	29	20	6			83	
満濃町	26	16	9	3					54	
琴平町	5	2	1						8	
多度津町	17	4	1						22	
仲南町		20	16	14	8	1			59	
仲多度郡計										
高瀬町	32	13	10	1					56	
山本町	15	10	7	1					33	
三野町	16	3							19	
大野原町	19	13	12	4	1				49	
豊中町	16	3	1						20	
詫間町	20	8	3						31	
仁尾町	10	5	1						16	
豊浜町	10	4	2	1					17	
財田町	14	16	11	4	2				47	
三豊郡計										
町 計	546	349	277	166	79	12			1,429	
県 計	866	417	311	180	81	12			1,867	

2-3 地形区分別面積市町村別内訳

地形区分 市町村	山 地 火 山 地					丘 陵 地		
	大起伏	中起伏	小起伏	山麓地	計	大起伏	小起伏	計
高松市		4.47	41.59	22.74	68.79	4.08	1.55	5.64
丸亀市		0.76	16.41	3.31	20.48	3.88	2.54	6.42
坂出市		7.46	24.86	6.93	39.25	4.26	1.95	6.21
善通寺市		4.56	1.86	6.71	13.14	2.14		2.14
観音寺市		7.74	3.51	1.22	12.47		1.02	1.02
市計		24.99	88.23	40.91	154.13	14.36	7.06	21.43
引田町		14.09	13.67	6.06	33.76	1.44	0.72	2.16
白鳥町		19.62	15.51	17.67	52.81	2.45		2.45
大内町		2.45	5.66	14.04	22.14			
大津町			2.81	3.42	6.23	1.21	0.21	1.42
川町		3.34	12.16	9.30	21.32		0.49	0.49
志度町			5.27	7.18	12.45	9.83	4.06	13.89
寒川町		0.74	7.01	4.60	12.35	0.23	0.74	0.97
長尾町		6.01	16.84	5.18	28.03		1.06	1.06
大川郡計								
内海町	9.28	9.96	26.74		45.98	7.81	0.74	8.54
土庄町	7.44	15.85	20.46	5.28		14.36		14.36
池田町	3.40	13.55	4.37		21.32	8.97	0.72	9.69
小豆郡計								
三木町		1.85	24.74	17.26	43.85	3.78		3.78
牟礼町			5.81	4.36	10.17			
庵治町			7.18	2.09	10.43	1.16	1.85	3.01
木田郡計								
塩江町	21.95	20.19	26.59	5.77	74.49			
香川町			5.49	5.99	11.48		1.04	1.04
香南町							0.25	0.25
直島町						10.74	1.57	12.31
香川郡計								
綾上町		6.78	7.57	26.12	40.47	1.78	1.21	2.99
綾南町		2.68	0.99	2.94	6.61	0.99	1.46	2.45
国分寺町		3.72	8.42	1.72	13.86			
綾歌町		3.54	1.26	5.60	10.40	0.77		0.77
飯山町		1.94		5.09	7.04			
宇多津町			0.58	0.19	0.77	0.58		0.58
綾歌郡計								
琴南町		5.752	6.74	7.99	7.225			
満濃町		3.59	7.94	9.28	20.81	1.77		1.77
琴平町		0.96		1.69	2.65	0.48		0.48
多度津町			5.33	1.77	7.10	0.67	1.32	1.99
仲南町		2.392	8.46	9.46	41.84	0.47		0.47
仲多度郡計								
高瀬町		2.25	4.05	22.57	28.88	35.46		35.46
山本町		3.32	3.55	11.16	18.03			
三野町		0.50	3.79	2.54	6.83	0.50		0.50
大野原町	10.02	15.84	1.88		27.74			
豊中町		3.63		1.45	5.08	1.71		1.71
託間町			7.80	6.88	14.67	4.36	0.21	4.57
仁尾町		3.65	2.19	4.61	10.45		0.73	0.73
豊浜町		7.91			7.91			
財田町		14.22	3.40	8.08	25.70	0.76		0.76
三豊郡計								
町計	52.09	263.63	274.26	237.38	775.87	112.28	17.38	130.65
県計	52.09	288.62	362.49	278.29	931.00	126.64	25.44	152.08

(単位 km²)

台 地 ・ 段 丘				低 地				合 計	備 考
砂 礫	ロ - ム	岩 石	計	扇状地性	三角州性	自然堤防砂州	計		
13.21			13.21	8.065	25.78	0.26	106.69	194.33	
0.51			0.51	10.75	25.44		36.19	63.60	
3.11			3.11	9.32	30.41	0.49	40.23	88.80	
1.86			1.86	12.34	10.20		22.54	39.68	
7.74		3.71	11.45	15.22	10.74		26.00	50.89	
26.43		3.71	30.14	128.28	102.57	0.75	231.65	437.30	
				8.03	0.96	3.17	12.17	48.09	
				13.27	1.72	1.96	16.95	72.14	
0.48			0.48	8.38	2.45	0.97	11.83	34.49	
0.60			0.60	2.42		1.41	3.83	12.08	
3.34			3.34	6.20			6.20	34.83	
0.47			0.47	10.07	0.47	1.67	12.21	39.02	
4.37			4.37	5.31			5.31	22.99	
5.18			5.18	11.65			11.65	45.88	
				5.59		1.48	7.07	61.47	
				5.51		5.51	11.02	74.41	
				3.37			3.37	34.38	
12.95			12.95	16.50			16.50	77.08	
2.90			2.90	1.45	0.25	1.69	3.39	16.47	
				1.39	0.46	0.69		14.83	
0.48			0.48	4.97			4.97	80.10	
6.76			6.76	8.24			8.24	27.47	
8.00			8.00	6.49			6.49	14.74	
				0.68		1.11	1.79	14.10	
6.99			6.99	20.91			20.91	71.37	
17.89			17.89	11.31			11.31	38.22	
5.69			5.69	6.45			6.45	26.00	
7.87			7.87	8.39			8.39	27.43	
2.91			2.91	9.72			9.72	19.67	
0.58			0.58	0.19	5.20		5.39	7.32	
6.24			6.24	4.74			4.74	83.24	
9.49			9.49	21.61			21.61	53.63	
				5.31			5.31	8.44	
				1.10	12.21		13.31	22.40	
11.70			11.70	4.76			4.76	58.77	
9.12			9.12	14.24	0.51		14.75	56.29	
8.07			8.07	7.10			7.10	33.20	
2.79			2.79	4.30	4.81		9.11	19.23	
4.89			4.89	15.35		1.38	16.73	49.35	
6.76			6.76	6.29			6.29	19.83	
0.92			0.92	1.60	4.36	4.57	10.56	30.70	
0.73			0.73	1.45	2.43		3.88	15.79	
				5.35		3.83	9.18	17.09	
12.71			12.71	8.08			8.08	47.24	
160.88			160.88	267.77	35.83	29.44	340.57	1,429.78	
188.07		3.71	191.78	396.05	138.40	168.59	582.22	1,867.08	

2-4 表層地質分布面積市町村別内訳 (その1)

(単位 km²)

表層地質 市町村	共 固 結 堆 積 物			計	固 結 堆 積 物					計
	沖積統	洪積統			鮮新統	中新統	白堊系統			
		低 位	高 位				砂 岩	泥 岩	砂岩・泥岩・互層	
	Smg	g sm	g s		泥岩および砂岩互層 al tms	砂岩および泥岩互層 al tsm	ss	ms	al tms	
高松市	107.3	23.7	0.3	131.3	0.4	0	0	0	0	0.4
丸亀市	33.9	0	0	33.9	0	0	0.1	0	0	0.1
坂出市	32.2	4.3	0	36.5	0	0	0	0	0	0
善通市	22.6	2.2	0	24.8	0	0	0	0	0	0
観音寺市	25.5	13.3	0.5	39.3	1.4	0	7.2	0	0	8.6
市 計	221.5	43.5	0.8	265.8	1.8	0	7.3	0	0	9.1
引田町	9.3	0	0	9.3	0	0	20.5	8.9	7.6	37.0
白鳥町	11.7	0.5	0	12.2	0	0	17.8	20.1	1.3	29.2
大津町	3.6	0.8	0	4.4	0	0	0.2	0	0	0.2
津田町	5.4	0	0	5.4	0	0	0	0	0	0
大志町	10.4	0.9	0.3	11.6	0	0	0	0	0	0
寒川町	15.1	0	0	15.1	0	0	0	0	0	0
尾町	10.1	0.6	0.8	11.5	0	0	0	0	0	0
長尾町	11.8	0.9	0.2	12.9	0	0	3.0	2.3	0	5.3
大川郡計										
内海町	3.0	0	0	3.0	0	0	0	0	0	0
土庄町	10.3	1.0	0	11.3	0	5.2	0	0	0	5.2
池田町	5.2	0	0	5.2	0	0	0	0	0	0
小豆郡計										
三木町	1.6	49.5	0.2	51.3	0	0	2.5	3.6	4.0	10.1
牟礼町	4.9	2.5	0	7.4	0	0	0	0	0	0
庵治町	3.9	0	0	3.9	0	0	0	0	0	0
木田郡計										
塩江町	1.7	0	2.3	4.0	0	0	6.0	17.9	26.6	50.5
香川町	7.6	7.1	0	14.7	0.1	0	0	0	0	0.1
香南町	4.5	4.9	2.1	11.5	0.1	0	0	0	0	0.1
直島町	0.6	0	0	0.6	0	0	0	0	0	0
香川郡計										
綾上町	8.6	0	8.1	16.7	1.0	0	2.5	4.4	1.0	8.9
綾南町	8.6	13.75	5.2	27.55	0.1	0	0	0	0	0.1
国分寺町	6.4	6.6	0	13.0	0	0	0	0	0	0
綾歌町	5.9	10.55	0.9	17.35	0	0	0	0	0	0
坂上町	12.5	1.7	0	14.2	0	0	0	0	0	0
宇多津町	5.4	0	0	5.4	0	0	0.2	0	0	0.2
綾歌郡計										
琴南町	3.7	0	1.2	4.9	1.1	0	5.4	31.0	38.2	75.7
満濃町	26.2	0.1	1.5	27.8	5.6	0	2.7	1.8	0	10.1
琴平町	5.9	0	0	5.9	0	0	0.1	0	0	0.1
多度津町	16.1	0	0	16.1	0	0	0	0	0	0
仲南町	7.1	2.9	2.1	12.1	4.0	0	15.7	15.4	0	35.1
仲多度郡計										
高山町	29.4	4.0	2.1	35.5	5.1	0	0	0	0	5.1
本町	8.2	2.7	1.5	12.4	2.4	0	2.3	6.5	0	11.2
三野町	8.9	4.1	0	13.0	0	0	0	0	0	0
大野原町	14.6	0	2.1	16.7	1.5	0	15.6	15.3	0	32.4
豊中町	11.1	1.5	0	12.6	1.7	0	0	0	0	1.7
間町	3.1	0.4	0	3.5	0	0	0	0	0	0
尾尾町	5.0	1.0	0	6.0	0	0	0	0	0	0
豊浜町	8.4	0	0	8.4	0	0	8.7	0	0	8.7
財田町	6.2	1.5	8.75	16.45	4.2	0	8.4	8.2	0	20.8
三豊郡計										
町 計	322.0	119.5	39.35	480.85	26.9	5.2	111.6	135.4	78.7	357.8
県 計	543.5	163.0	40.15	746.7	28.7	5.2	118.9	135.4	78.7	366.9

2-4 表層地質分布面積市町村別内訳 (その2)

(単位 km²)

表層地質 市町村	火山性岩石					計	深成岩			計	変成岩	合計
	凝灰岩類	集塊岩	流紋岩	安山岩	玄武岩		閃緑岩	細粒花崗岩	中粒ないしは粗粒花崗岩			
	Tr	Ag	Ry	Aa	Bs		D	Gr(f)				
高松市	2.1	0	0.2	10.5	0.7	13.5	0.7	0	48.3	49.0	0.05	194.3
丸亀市	0	0	0	0.7	0	0.7	0	0.5	27.3	27.8	1.1	63.6
坂出市	13.7	0	0	15.7	0	29.4	0.5	0	22.3	22.8	0.1	88.8
善通寺市	4.25	0	0.05	0.6	0	4.9	0	0	10.0	10.0	0	39.7
観音寺市	0.3	0	0	2.5	0	2.8	0	0	0.2	0.2	0	50.9
市計	20.35	0	0.25	30.0	0.7	51.3	1.2	0.5	108.1	109.8	1.25	437.3
引田町	0	0	0	0	0	0	0	0	1.8	1.8	0	48.1
白鳥町	0	0	0	0	0	0	0	0	20.7	20.7	0	72.1
内町	0	0	0.1	0	0	0.1	0	0.8	29.0	29.8	0	34.5
大津田町	0.25	0	0.2	1.5	0	1.95	0	2.2	2.5	4.7	0.05	12.1
大川町	0.1	0	0.2	0.4	0	0.7	0	0.3	22.2	22.5	0	34.8
大志度町	2.5	0	0	0.8	0	3.3	0	11.7	8.6	20.3	0.3	39.0
寒川町	0	0	0.1	0	0	0.1	0	0.4	11.0	11.4	0	23.0
長尾町	0	0	0.3	0.3	0	0.6	0	0.7	26.4	27.1	0	45.9
大川郡計												
内海町	3.7	9.6	0	5.4	0	18.7	5.8	0	33.4	39.2	0.6	61.5
土庄町	0.8	2.8	0	7.1	0	10.7	0	0	46.2	46.2	1.0	74.4
池田町	1.2	7.0	0	1.3	1.5	11.0	0	2.2	15.8	18.0	0.2	34.4
小豆郡計												
三木町	0.1	0	0.4	1.2	0	1.7	0	1.3	12.7	14.0	0	77.1
牟礼町	0.2	0	0	0	0	0.2	0.2	2.0	6.7	8.9	0	16.5
庵治町	0	0.2	0	0	0	0.2	1.0	2.7	6.95	10.65	0.05	14.8
木田郡計												
塩江町	0	0	0.2	0	0	0.2	0	0	25.4	25.4	0	80.1
香川町	0.1	0	0	0.4	0	0.5	0	0	12.2	12.2	0	27.5
香南町	0	0	0	0	0	0	0	0	3.1	3.1	0	14.7
直島町	0	0	0	0	0	0	0	0	13.5	13.5	0	14.1
香川郡計												
綾上町	0.1	0	0	0.7	0	0.8	0	0.5	44.4	44.9	0.1	71.4
綾南町	0.05	0	0	0.6	0	0.65	0	0	9.9	9.9	0	38.2
国分寺町	1.3	0	0	3.9	0	5.2	0.4	0	7.4	7.8	0	26.0
綾歌町	0.1	0	0.05	0.3	0	0.45	0	0	9.6	9.6	0	27.4
飯山町	0	0	0	0.3	0	0.3	0	0	5.2	5.2	0	19.7
宇多津町	0	0	0	0.3	0	0.3	0	0	1.4	1.4	0	7.3
綾歌郡計												
琴南町	0	0	0	0	0	0	0	0	2.6	2.6	0	83.2
満濃町	0	0	0	0	0	0	0	0	15.7	15.7	0	53.6
琴平町	0.4	0	0	0	0	0.4	0	0	1.8	1.8	0.2	8.4
多度津町	0.3	0	0	1.8	0	2.1	0	0	4.1	4.1	0.1	22.4
仲南町	0	0	0	0	0	0	0	0	9.8	9.8	1.8	58.8
仲多度郡計												
高瀬町	0	0	0	1.5	0	1.5	0	0	14.2	14.2	0	56.3
山本町	0	0	0	0	0	0	0	0	9.6	9.6	0	33.2
三野町	0.3	0	0	0.4	0	0.7	0	0	5.5	5.5	0	19.2
大野原町	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0.3	0	49.4
豊中町	0	0	0	1.8	0	1.8	0	0	3.7	3.7	0	19.8
詫間町	0.2	0	0	0.9	0	1.1	2.9	0	22.2	25.1	1.0	30.7
仁尾町	0.3	0	0	1.4	0	1.7	0.2	0	7.9	8.1	0	15.8
豊浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17.1
財田町	0	0	0	0.05	0	0.05	0	0	9.8	9.8	0.2	47.3
三豊郡計												
町計	1.20	1.96	1.55	32.35	1.5	67.0	10.5	2.48	483.25	518.55	5.6	1,429.8
県計	32.35	1.96	1.8	62.35	2.2	118.3	11.7	2.53	591.35	628.35	6.85	1,867.1

2-5 土壤統群分布面積市町村別内訳

土壤統群 市町村	未熟土		褐色森林土						赤黄色土		褐色低地土			灰色低地土			グライ土		岩 石 地	合 計			
	残積土	未熟土 計	乾性 褐色 土	森林 褐色 土	森林 褐色 土	森林 褐色 土	森林 褐色 土	森林 褐色 土	暗赤 色	暗赤 色	褐色 低地 土	粗粒 褐色 土	細粒 褐色 土	粗粒 褐色 土	粗粒 褐色 土	粗粒 褐色 土	粗粒 褐色 土	粗粒 褐色 土					
																					性	性	性
高松市	4	4	12	8	25	1	2	48	1	20	21	4	—	4	22	—	36	58	0	0	0	0	135
丸亀市	14	14	0	—	7	—	—	7	—	4	4	0	—	0	5	9	5	19	—	—	—	—	44
坂出市	4	4	16	—	12	1	—	29	3	9	12	—	—	—	6	6	5	17	—	4	4	—	66
善通寺市	0	0	4	2	6	0	1	13	—	2	2	1	—	1	2	9	4	15	—	—	—	—	31
観音寺市	0	0	4	4	3	1	0	12	—	5	5	1	0	1	4	8	5	17	—	—	—	—	35
小計	22	22	36	14	53	3	3	109	4	40	44	6	0	6	39	32	55	126	0	4	4	0	311
引田町	2	2	21	4	2	4	0	31	—	0	0	—	—	—	1	3	—	4	2	1	3	—	40
白鳥町	2	2	24	14	5	6	1	50	—	3	3	—	—	—	2	2	2	6	—	1	1	0	62
内町	1	1	—	5	13	1	1	19	—	2	2	0	—	0	—	7	1	8	—	—	—	—	30
大津町	1	1	1	—	8	—	0	9	—	1	1	0	—	0	—	1	1	2	—	—	—	—	13
川町	1	1	0	7	13	—	3	23	—	2	2	—	—	—	0	3	3	6	—	—	—	—	32
大志町	1	1	2	—	18	0	0	20	—	3	3	—	1	1	1	6	1	8	0	—	0	—	33
寒川町	—	—	—	7	4	—	2	13	—	1	1	—	—	—	1	2	3	6	—	—	—	—	20
長尾町	0	0	4	13	4	2	3	26	—	3	3	1	—	1	1	4	3	8	—	—	—	—	38
大川郡計																							
内海町	10	10	11	—	23	1	1	36	—	2	2	3	—	3	—	—	—	—	—	—	—	3	54
土庄町	19	19	12	—	18	2	1	33	—	11	11	3	—	3	0	—	—	0	0	0	0	—	66
池田町	7	7	7	—	11	1	0	19	—	4	4	1	—	1	—	1	—	0	0	0	0	—	32
小豆郡計																							
三木町	0	0	5	15	11	3	5	39	—	5	5	—	—	—	9	4	5	18	0	—	0	—	62
礼町	—	—	0	—	6	—	0	6	—	2	2	—	—	—	3	0	3	—	—	—	—	1	12
庵治町	2	2	2	—	5	—	—	7	—	2	2	0	1	1	—	0	—	0	—	—	—	0	12
木田郡計																							
塩江町	—	—	32	16	—	11	2	61	—	4	4	2	—	2	—	0	—	0	—	—	—	—	67
香川町	—	—	0	6	4	—	1	11	—	4	4	1	—	1	—	2	3	5	—	—	—	—	21
香南町	—	—	—	—	3	—	0	3	—	3	3	2	1	3	1	0	—	—	—	—	—	—	10
直島町	6	6	—	—	7	—	—	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14
香川郡計																							
綾上町	—	—	5	23	15	2	2	47	—	0	0	—	—	—	—	9	5	14	0	—	0	—	61
綾南町	—	—	1	1	8	—	0	10	—	4	4	0	—	0	9	3	2	14	0	—	0	—	28
国分寺市	—	—	4	—	7	0	0	11	0	5	5	1	—	1	1	3	0	4	—	0	0	—	21
綾歌山町	—	—	0	1	6	—	1	8	—	5	5	—	—	—	3	3	2	8	—	—	—	—	21
宇多津町	—	—	1	—	4	—	—	5	0	3	3	—	—	—	2	4	2	8	—	—	—	—	16
綾歌郡計	—	—	0	—	1	—	—	1	—	0	0	0	—	0	1	0	1	2	—	0	0	—	3
琴南町	—	—	50	3	2	13	0	68	—	4	4	—	—	—	0	0	3	9	—	—	—	—	75
濃平町	—	—	4	8	10	1	1	24	—	4	4	3	—	3	2	0	7	9	—	—	—	—	40
多度津町	—	—	0	1	1	—	0	2	—	—	—	—	1	1	1	3	—	—	—	—	—	—	6
仲多度町	4	4	1	—	4	—	—	5	—	3	3	—	—	—	3	1	2	6	—	0	0	—	18
仲多度郡計	—	—	23	1	12	6	0	42	—	5	5	2	—	2	—	1	1	2	—	—	—	—	5
高山町	0	0	2	—	20	0	0	22	—	8	8	4	—	4	3	8	—	11	—	—	—	—	45
本町	—	—	3	5	10	0	1	19	—	4	4	2	—	2	0	3	2	5	—	—	—	—	30
三野町	—	—	0	1	3	—	—	4	—	3	3	—	—	—	2	2	3	7	—	—	—	—	14
大野町	—	—	18	3	4	5	0	30	—	5	5	5	—	5	1	4	1	6	—	—	—	—	46
豊中町	0	0	2	—	2	0	—	4	—	2	2	—	—	—	2	4	4	10	—	—	—	—	16
託尾町	5	5	—	—	15	—	0	15	—	5	5	—	—	—	0	1	1	2	0	—	0	—	27
仁尾町	1	1	—	—	4	0	0	5	—	5	5	—	—	—	—	1	0	1	0	—	0	—	12
豊浜町	—	—	—	5	2	—	1	8	—	2	2	1	0	1	1	1	1	3	—	—	—	—	14
三豊郡計	—	—	11	4	15	2	1	33	—	5	5	1	—	1	1	3	—	4	—	0	—	—	43
町計	62	62	247	143	300	59	27	776	0	125	125	33	3	36	48	90	60	198	2	2	4	4	1,205
県計	84	84	283	157	353	62	30	885	4	165	169	39	3	42	87	122	115	324	2	6	8	4	1,516

3. 土地利用可能性分級

3-1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳

土地利用 可能性 分級 市町村	1 類地	2 類地	3 類地	4 類地	5 類地	6 類地	7 類地	8 類地 (未区分地)	9 類地 (河川地)	合 計	備 考
	高 松 市		83.6	42.1	41.6	6.3	0.1	1.1	19.5		194.3
九 龍 市		19.9	5.5	28.1	1.6	0	0.1	8.4		63.6	
坂 出 市		17.5	13.3	34.4	8.4	0	0.9	14.3		88.8	
善 通 寺 市		18.7	4.3	8.4	3.2	0	1.2	3.9		39.7	
観 音 寺 市		20.3	10.1	8.6	4.4	0	1.6	5.9		50.9	
市 計		160.0	75.3	121.1	23.9	0.1	4.9	52.0		437.3	
引 田 町		3.0	13.5	17.6	11.2	0	1.6	1.2		48.1	
白 鳥 町		14.2	6.7	31.6	16.9	0.1	1.2	1.4		72.1	
大 内 町		8.3	1.7	19.3	3.4	0	0	1.8		34.5	
津 田 町		2.7	0.1	6.6	1.8	0	0.3	0.6		12.1	
大 川 町		4.3	3.3	20.1	5.1	0	0.7	1.3		34.8	
大 志 度 町		8.1	7.7	18.2	2.6	0	0.3	2.1		39.0	
寒 川 町		5.1	2.9	10.6	1.8	0	1.9	0.7		23.0	
長 尾 町		6.5	7.8	22.8	5.9	0	1.9	1.0		45.9	
大 川 郡 計		52.2	43.7	146.8	48.7	0.1	7.9	10.1		309.5	
内 海 町		3.7	1.9	46.6	4.4	2.5	2.1	0.3		61.5	
土 庄 町		5.7	5.6	51.5	9.8	0.1	1.3	0.4		74.4	
池 田 町		2.4	0.2	28.8	1.6	0.3	0.7	0.4		34.4	
小 豆 郡 計		11.8	7.7	126.9	15.8	2.9	4.1	1.1		170.3	
三 木 町		17.3	4.8	41.2	10.5	0	0.1	3.2		77.1	
牟 礼 町		5.0	2.5	8.0	0	0.4	0	0.6		16.5	
庵 治 町		1.9	2.1	9.1	1.3	0.1	0	0.3		14.8	
木 田 郡 計		24.2	9.4	58.3	11.8	0.5	0.1	4.1		108.5	
塩 江 町		5.4	4.5	37.4	23.1	0	9.3	0.4		80.1	
香 川 町		5.4	2.0	19.1	0	0	0	1.0		27.5	
香 南 町		7.4	2.6	3.0	0	0	0	1.7		14.5	
直 島 町		0	0	14.1	0	0	0	0		14.1	
香 川 郡 計		18.2	9.1	73.6	23.1	0	9.3	3.1		136.4	
綾 上 町		0.8	4.5	56.3	7.3	0	1.1	1.4		71.4	
綾 南 町		14.3	3.6	17.3	0.5	0.1	0	2.4		38.2	
洞 分 寺 町		1.9	0.9	18.1	2.6	0	1.1	1.4		26.0	
綾 歌 町		8.9	2.9	12.3	1.2	0	0.1	2.0		27.4	
飯 山 町		3.5	5.0	9.5	0.4	0	0.1	1.2		19.7	
宇 多 津 町		2.5	0	2.2	0.1	0	0	2.5		7.3	
綾 歌 郡 計		31.9	16.9	115.7	12.1	0.1	2.4	10.9		190.0	
琴 南 町		1.2	6.1	42.7	23.8	0.3	8.9	0.2		83.2	
満 濃 町		8.1	4.1	34.6	1.5	0	0.3	5.0		53.6	
琴 平 町		4.5	1.5	1.8	0.6	0	0	0		8.4	
多 度 津 町		5.8	3.5	7.6	3.6	0	0.7	1.2		22.4	
仲 南 町		3.1	1.8	34.2	15.6	0	3.1	1.0		58.8	
仲 多 度 郡 計		22.7	17.0	120.9	45.1	0.3	13.0	7.4		226.4	
高 瀬 町		13.1	3.7	28.7	6.0	0.3	1.0	3.5		56.3	
山 本 町		6.0	2.3	17.9	4.6	0.2	1.0	1.2		33.2	
三 野 町		7.5	3.7	3.9	2.8	0	0.3	1.0		19.2	
大 野 原 町		11.0	2.9	13.2	14.9	0	2.3	5.1		49.4	
豊 中 町		9.3	3.8	1.0	2.4	0	0.9	2.4		19.8	
豊 詫 間 町		1.6	3.3	17.4	5.4	0	1.2	1.8		30.7	
仁 尾 町		0.9	3.1	4.2	4.3	0	2.4	0.9		15.8	
豊 浜 町		3.9	1.6	4.3	5.7	0	0.8	0.8		17.1	
財 田 町		4.8	2.1	23.0	11.3	0	5.3	0.7		47.2	
三 豊 郡 計		58.1	26.5	113.6	57.4	0.5	15.2	17.4		288.7	
町 計		219.1	130.3	755.8	214.0	4.4	52.0	54.1		1429.7	
県 計		379.1	205.6	876.9	237.9	4.5	56.9	106.1		1867.0	

3-2 土地利用可能性分級別市町村別内訳

3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連

(単位 km²)

土地利用可能性分級 地形区分	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
山地・火山地		82.0	65.7	646.7	215.0	4.0	54.9	11.3	1,079.6	
丘陵地		5.0	2.0	49.7	5.9	0	0.2	0	62.8	
台地・段丘		72.1	33.8	152.0	15.5	0.5	1.7	7.7	283.3	
低地		220.0	104.1	28.5	1.5	0	0.1	87.1	441.3	
合計		379.1	205.6	876.9	237.9	4.5	56.9	106.1	1,867.0	

3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連

(単位 km²)

土地利用可能性分級 傾斜	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
0～3°(S ₁)		326.3	141.0	25.0	1.0	0		106.1	599.4	
3～8°(S ₂)		52.8	20.8	20.2		0.1			93.9	
8～15°(S ₃)			43.8	69.7	2.5	0.3			116.3	
15～30°(S ₄)				762.0	15.0	2.3			779.3	
30～40°(S ₅)					219.4	1.7			221.1	
40°～(S ₆)						0.1	56.9		57.0	
合計		379.1	205.6	876.9	237.9	4.5	56.9	106.1	1,867.0	

3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関連

(単位 km²)

土地利用可能性分級 標高区分	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
低暖地帯(H ₁)		379.1	205.3	811.9	142.8	2.4	20.0	106.1	1,667.6	
山間地帯(H ₂)			0.3	65.0	95.1	2.1	36.9		119.4	
高冷地帯(H ₃)										
生産限界外 地帯(H ₄)										
合計		379.1	205.6	876.9	237.9	4.5	56.9	106.1	1,867.0	

3-2-4 土地利用可能性分級と土壌生産力可能性との関連

(単位 km²)

土地利用可能性分級 土壌生産力可能性等級区分	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
はなはだよい(P ₁)		220.1	112.0					106.1	438.2	
ややよい(P ₂)		159.0	51.8	110.0					320.8	
ややおとる(P ₃)			41.8	420.9	1.0				463.7	
おとる(P ₄)				346.0	2.5				348.5	
はなはだおとる(P ₅)					234.4	4.5	56.9		295.8	
合計		379.1	205.6	876.9	237.9	4.5	56.9	106.1	1,867.0	

3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要

地域の概要		土地利用可能性分級		1 類 地	2 類 地	3 類 地
地 域 名 (団 地 名)					丸亀平野 (丸亀低地)	高松平野 (高松～長尾低地)
地 形	傾 (谷 密 度) 斜				S ₁ (0-3°) 0	S ₁ (0-3°) 0
	標 高				0-100m	0-100m
表層地質	岩 石 の 種 類 岩 石 の か た さ 時 代				沖積層 (砂・泥・礫) 軟 第四紀	沖積層 (砂・泥・礫) 軟 第四紀
土 壤	農 田	土 壤 統 群 生 産 力 可 能 性 分 級			細粒灰色低地土壌 Ⅱ 灰色土壌	粗粒灰色 Ⅲ 低地土壌
		畑	土 壤 統 群 生 産 力 可 能 性 分 級			
	草 地	土 壤 統 群 生 産 力 可 能 性 分 級				
	林 地	土 壤 統 群 地 位 級				
水 利 用	地 表 水 地 下 水 天 水				○ ○ ×	○ ○ ×
気 候 区 分					四国型 (瀬戸内型)	四国型 (瀬戸内型)
面 積	土地利用可能性類地別面積県内合計 (A)				3 7 9 . 1	2 0 5 . 6
	当該地域の類地別面積県内合計 (B)				7 1 . 9	5 1 . 5
	% (B/A)				1 8 . 9 %	2 5 . 4 %

4 類 地	5 類 地	6 類 地	7 類 地	8 類 地
高鉢山地～ 焼尾粉所台地	阿讃山地 中央部 (塩江～琴南～綾上)	小豆島 中央山地	阿讃山地 中央部 (塩江～琴南)	高松低地
S ₃ ～S ₄ (8～30°)	S ₃ ～S ₅ (8～40°)	S ₄ ～S ₅ (15～40°)	S ₆ (40° 以上)	S ₁ (0～3°)
80～500m	100～1,000m (1000m)	400～700m	400～1000m (1,000m)	0～20m
花崗岩 安山岩 砂岩 泥岩 洪積層 硬 中生代	砂岩 泥岩 花崗岩 洪積層 硬 中生代	集塊岩・凝灰岩 中 第三紀	砂岩泥岩互層 硬 中生代	沖積層(砂・泥) 軟 第四紀
Ⅱ 灰色土壌 Ⅱ 褐色低地土壌 Ⅲ粗粒灰色低地土壌				
Ⅳ 乾性褐色森林土壌 (黄褐) Ⅳ 乾性褐色森林土壌 (黄褐未熟土) 一部Ⅲ 褐色森林土壌 (黄褐)	Ⅲ 乾性褐色森林土壌 一部 Ⅱ 褐色森林土壌 Ⅳ 乾性褐色森林土壌 (黄褐)	V 岩石地	Ⅲ 乾性褐色森林土壌 一部 Ⅱ 褐色森林土壌	
○ △ ×	○ △ ×	○ × ×	○ × ×	○ ○ ×
四国型 (瀬戸内型)	四国型 (山地型)	四国型 (瀬戸内型)	四国型 (山地型)	四国型 (瀬戸内型)
876.9 60.9 6.9%	237.9 54.2 22.8%	4.5 2.3 51.1%	56.9 18.2 32.0%	106.1 19.5 18.4%

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市、町、村名	類地区分		土 地 利 用					
			水	田	畑			
					普通畑		樹園地	
類地区分および包含される示性式	面積	土地利用占有率	平均収穫量率	土地利用占有率	主要作物および平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種および平均収穫量率	
豊 浜 町 大 野 原 町 山 本 町 豊 中 町 観 音 寺 市	Ⅱ 1-12	39.6	a	103				
	1-22	10.9	a	95				
	Ⅲ 1-13	18.2	a	92			a	みかん,ぶどう
	1-23	1.6						
	1-32	0.9	d	90				
	Ⅳ 1-14	6.7	a	98				
	1-24	1.9						
	1-34	1.6	c					
	1-42	2.5	d				d	みかん
	1-43	5.1	d				d	みかん
	1-44	26.0	d				d	みかん,なし
	2-43	1.2					d	みかん(104)
	Ⅴ 1-52	0.6					a	みかん
	1-53	5.5					d	みかん
1-54	20.9					d	みかん(120)	
2-52	0.5							
2-53	3.3					d	みかん	
2-54	1.2							
Ⅵ 1-35	0.1							
1-55	0.1							
Ⅶ 1-62	0.2							
1-63	0.1							
1-64	2.1							
2-62	0.1							
2-63	4.0							
2-64	0.1							
Ⅷ	15.4							
地域計	170.4		100				102	
詫 間 町 仁 尾 野 町 三 野 町	Ⅱ 1-12	6.5	a	107				
	1-22	3.5	a	100				
	Ⅲ 1-13	7.9	a	95	d	かん		
	1-23	1.6	b		d	し	c	みかん
	1-32	0.6	b		b	よ		
1-33	0.4			c		b	みかん	

用 の 現 況						備 考
草 地		林 地			空地その他 土地 利用 占 有 率	
土地 利用 占 有 率	草地の種類 および平均 収穫量率	土地 利用 占 有 率	主要樹種 および平均 収穫量率	計		
				人工林	天然林	
						<p>※本県西部の愛媛県と接する地域で、観音寺市・豊浜町を中心とするいわゆる三豊平野地域で、これは扇状地性の平野と海岸砂州および干拓地（三豊干拓）とからなり、本県の主要な米作地帯となっている。後背地の阿讃山麓や周辺の丘陵は果樹園として利用され、みかんの栽培が盛んである。大野原町は坂出市につき第2の生産（6.830ton）を示している。その外レタス、すいか、玉ねぎなどの野菜裁の生産も著しい。豊浜町では梨の栽培もみられる。</p> <p>地域内河川としては、財田川、椎田川、唐井手川およびそれらの小支流がある、又五郷ダム、豊稔池および各池をはじめ大小多様溜池があり農業用に利用されている。地表水利用のほか、地下水も豊富であり開発利用されているが、最近塩水の浸入があり、問題となっている。</p>
		a	針			
		d a b c a a a	針 針 針 針 針 針 針			
		{ d	針 針 針 針 針 針 針 針 針 針			
		a a a a d a	針 針 針 針 針 針			
		a a	針 針			
		a a a a a a	針 針 針 針 針 針 針			
		{ a d	針 針 針 針 針 針 針			
				15	52	
				計 67		
						<p>本県西部の三崎半島およびその脚部に当る地域で、大部分が紫雲出山をはじめとする七宝山塊地域で、花崗岩、安山岩からなっている。この山塊の山麓部は果樹園として利用さ</p>

市、町、村 名	類地区分 面積		土 地 利						
			水 田		畑				
			土地利用 占有 率	平 均 収 穫 量 率	土地利用 占有 率	普 通 畑 主要作物 および平均 収 穫 量 率	樹 園 地 土地利用 占有 率	主 要 樹 種 および平均 収 穫 量 率	
	Ⅳ 1-14	2.0	b		c				
	1-24	1.3	b						
	1-34	0.5	b			かん			
	1-42	0.1			c	し	b	みかん	
	1-43	7.7	d		d	よ	b	みかん(120)	
	1-44	9.9							
	Ⅴ 1-52	0.3					a	みかん	
	1-53	2.4					a	みかん	
	1-54	8.1							
	2-54	0.2							
	Ⅶ 1-64	3.9							
	Ⅷ	3.7							
	地 域 計	60.6		101					100
高 瀬 町	Ⅱ 1-12	10.2	a						
	1-22	2.9	a						
	Ⅲ 1-23	2.6	d				a	みかん	
	1-32	0.6	b				b	みかん	
	1-33	0.5	b						
	Ⅳ 1-14	0.8	d				a	みかん	
	1-24	1.9					a	みかん	
	1-34	3.2							
	1-42	3.4	d				d	みかん	
	1-43	0.5	a						
	1-44	18.9					d	みかん もも	
	Ⅴ 1-53	1.0					b	みかん	
	1-54	4.6							
2-54	0.4								
Ⅵ 1-45	0.3	a							
Ⅶ 1-64	0.6								
2-64	0.4								
Ⅷ	3.5								
地 域 計	56.3		101					102	
財 田 町 仲 南 町	Ⅱ 1-12	4.2	a						
	1-22	3.7	a						
	Ⅲ 1-13	1.1	a				b	みかん	
	1-23	1.3	b						
	1-32	1.1	b						
1-33	0.1	a							

用 の 現 況							備 考
草 地		林 地			空 地 その他		
土地利用 占有 率	草地の種類 および平均 収 穫 量 率	土地利用 占有 率	主要樹種 および平均 収 穫 量 率	計		土 地 利 用 占 有 率	
				人工林	天然林		
		c b	針 針				れ、仁尾町を中心として みかん栽培が盛んである。 低地帯は半島脚部の三野 町を中心としてひらけ、 水田に利用されている。 地域内河川としては高瀬 川がある。この高瀬川沿 いの低地帯は塩水の浸人 が著しく河口ダムが建設 されている。
		a	針				
		a a	針 針				
				2	12		
				計 14			
							周辺を丘陵性の山地でか こまれ、それらの丘陵地 は、果樹園として開発さ れ、みかん、桃、柿およ び茶の生産が盛んである。 丘陵地間の低地は水田と して利用され、稲作が盛 んである。地域内河川と しては、高瀬川およびそ の支流小河川であり、岩 瀬池、国市池など多数の 池があり、農業用に利用 されている。
		c	針				
		d a b	針 針 針				
		a	針				
		c a a	針 針 針				
		b c a	針 広 針				
				3	14		
				計 17			
		c	針				

市、町、村 名	類地区分 面積	土 地 利						
		水 田		畑				
		土地利用 占有率	平 均 収獲量率	土地利用 占有率	普通畑 主要作物 および平均 収獲量率	樹 園 地 土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収獲量率	
	Ⅳ	1-24 2.8	c					
		1-34 1.2						
		1-42 4.4	c				d	みかん
		1-43 5.8					d	みかん
		1-44 37.8	d				d	みかん, もも
		2-23 0.3						
		2-33 0.3						
		2-42 0.4						
		2-43 4.5						
		V	1-52 1.5					a
		1-53 4.8						
		1-54 8.4						
		2-52 0.6						
		2-53 11.6						
	Ⅶ	1-62 0.4						
		1-63 1.0						
		1-64 0.5						
		2-63 6.5						
	Ⅷ	1.7						
	地域計	106.0		86				80
多度津町 琴平町 丸亀市 善通寺市	Ⅱ	1-12 55.7	a	108				
		1-22 1.3	a					
	Ⅲ	1-13 14.9	a	100				
		1-23 0.4	a					
		1-32 1.8	c				c	みかん
		1-33 0.8	a					
	Ⅳ	1-14 4.9						
		1-24 1.1	d		d	かんしょ ばれしょ		
		1-34 3.0	d			たまねぎ	b	みかん
		1-42 1.4			b		b	みかん, おとう
	1-43 2.8					d	みかん, もも	
	1-44 37.2						かき, もも	
	2-42 0.3							
	2-43 0.6							

用 の 現 況							備 考
草 地		林 地			空地その他		
土地利用 占有率	草地の種類 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	計		土地利 用 占有率	
				人工林	天然林		
		b a c a a { b c { b c a { b b	針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針				<p>の阿讃トンネルの通過地点にもあたっている。地域内河川としては、財田川およびその小支流河川があり、河川水の利用が盛んである。</p> <p>上流地域に野口ダムが建設され、多目的に利用されている。</p>
		{ a d a a c { c c c	針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針				
		a { a c { a d { c c d	針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針				
					24	53	
					計 77		
		c d	広 針				<p>いわゆる丸亀平野地域で、本県三大平野の一つであり、土器川および金倉川をつくる複合扇状地と臨海部の三角州とで構成されており、主として水田として利用され、米作地帯となっている。</p> <p>周辺丘陵地域はみかんの栽培が盛んであり、多度津町ではぶどう、普通寺市ではレタスの栽培も多い。普通寺市および琴平町は、昔から門前町として名高い。地域内河川としては、土器川、金倉川としての支流小河川である、その他満濃池</p>
		a b a b	針 針 針 針				
		{ a d { b c a	針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針				

市、町、村 名	類地区分		土 地 利					
			水 田		畑			
					普 通 畑		樹 園 地	
類地区分お よび包含さ れる示性式	面 積	土地利用 占 有 率	平 均 収 穫 量 率	土地利用 占 有 率	主要作物 および平均 収 穫 量 率	土地利用 占 有 率	主要樹種 および平均 収 穫 量 率	
	V 1-52	0.4						
	1-53	0.3						
	1-54	5.8						
	2-53	0.3						
	VII 1-64	1.0						
	2-63	0.2						
	2-64	0.7						
	VIII	18.5						
	地 域 計	153.4		105				98
	宇多津町 国分寺町 坂出市	II 1-12	19.3		111			
1-22		2.6						
III 1-13		10.2	a	108	d	か ば ん れ し し よ よ	d	みかん
1-23		1.6	a					
1-33		0.8	a					
1-32		1.6	c				c	みかん
IV 1-14		0.8			d			
1-24		0.3	b			か ば ん れ し し よ よ		
1-34		3.3						
1-42		1.4						
1-43		2.9					a	みかん
1-44		42.8					d	みかん もも かき
V 1-53		0.6					b	みかん
1-54	10.1					c	みかん	
2-44	0.4							
VII 1-64	2.0					b	みかん	
VIII	18.2							
地 域 計	118.9		110				94	

用 の 現 況						備 考
草 地		林 地			空地その他 土 地 利 用 占 有 率	
土 地 利 用 占 有 率	草地の種類 および平均 収穫量率	土 地 利 用 占 有 率	主要樹種 および平均 収穫量率	計		
				人工林	天然林	
		a a a d a	針 針 広 針 針			をはじめとする大小多数の溜池があり、農業用に利用されている。又地下水も豊富であり、浅井戸、深井戸の利用が多い。
		a a a	針 針 針			
				6	21	
				計 27		
		c	針			
		a b a a a	針 針 針 針 針			
		a	針			
		c b a	針 針 針			
		b	針			
				16	22	
				計 38		

市、町、村 名	類地区分		土 地 利						
			水 田		畑				
					普通畑		樹園畑		
					土地利用 占有率	平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率	土地利用 占有率
飯 山 町 綾 歌 町 綾 南 上 町	Ⅱ 1-12	23.2	a	106					
	1-22	4.3	a						
	Ⅲ 1-13	10.1	a	105					
	1-23	0.6	a						
	1-33	2.1	a				d	みかん もも	
	1-32	3.2	a					ぶどう	
	Ⅳ 1-14	0.9	a						
	1-24	0.9	a						
	1-34	7.8	d				d	みかん, かき	
	1-42	13.4	b						
	1-43	5.3	d				d	みかん, もも	
	1-44	65.8	c				d	ぶどう, みかん, もも	
	2-43	1.3							
	Ⅴ 1-52	0.3							
	1-53	0.3							
	1-54	5.5							
	2-34	0.1							
	2-44	0.7							
	2-53	0.6							
2-54	1.9								
Ⅵ 1-25	0.1	a							
Ⅶ 1-63	0.1								
1-64	0.5								
1-63	0.7								
Ⅷ	7.0								
地 域 計	156.7		102					69	
琴 南 町 塩 江 町	Ⅱ 1-12	6.1	a						
	1-22	0.5	a						
	Ⅲ 1-13	7.2	a						
	1-23	0.5			b	かばき んれや ししべつ よよつ			
	1-32	0.5	b						
	1-33	1.6							
2-12	0.3								

用 の 現 況							備 考
草 地		林 地			空 地 其 他		
土地利 用 占 有 率	草地の種類 および平均 収穫量率	土地利 用 占 有 率	主要樹種 および平均 収穫量率	計		土地利 用 占 有 率	
				人工林	天然林		
							香川県中部に位置する下位洪積台地上の田園地帯で、台地のわりに、水田面積が多い、周辺の丘陵および傾斜地は果樹園として利用され、みかん、柿、桃の栽培が行なわれている。地域内河川としては、綾川、大東川およびその小支流河川がある。長柄ダム、仁池、北条池など多数の溜池があり、かんがい用に利用されている。
		d d	針 針				
		a c a c d a	針 針 針 針 広 針				
		a d a b c a b c a a d	針 広 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針 針				
		a a a	針 針 針				
				18	50		
				計 68			
		c { d d b c a	針 針 広 針 針 針				
							阿讃山地の中央部に位置する山地地帯で、林業を主とする。水田は山間河谷平野を利用している。塩江町は古くから本県唯一の温泉地（冷泉）として知られている。この両町は、最近阿讃山地開発計画に基き、山地の緩傾斜地域を牧野、くり園、

市、町、村 名	類 地 区 分		土 地 利					
			水 田		畑			
	類地区分お よび包含さ れる示性式	面 積	土地利用	平 均	土地利用	主要作物	土地利用	主要樹種
			占有率	収穫量率	占有率	および平均 収穫量率	占有率	および平均 収穫量率
	Ⅳ 1-14	3.1						
	1-24	0.2						
	1-34	3.1						
	1-42	2.5			d	かばき んれや ししべ つ		
	1-43	8.6	d		d			
	1-44	16.6	d		d			
	2-33	3.0						
	2-42	3.8	d		d			
	2-43	39.7	d		d			
	V 1-52	0.6			d			
	1-53	4.4						
	1-54	1.3				かばき んれや ししべ つ		
	2-52	5.3			d			
	2-44	33.8						
	2-53	1.5			d			
	Ⅵ 1-15	0.3						
	Ⅶ 1-63	0.4						
	1-64	0.2						
	2-62	0.4						
	2-63	17.2						
	Ⅷ	0.6						
	地 域 計	163.3		81				

用 の 現 況						備 考
草 地		林 地			空地その他	
土地利用 占有 率	草地の種類 および平均 収穫量率	土地利用 占有 率	主要樹種 および平均 収穫量率	計		
				人工林	天然林	
		{ a d a b c c d d c c c d d a b d c d d	広 針 針 針 混 針 混 針 針 混 針 針 混 針 針 混 針 針 混			高冷地野菜などの農地として利用するため、昭和46年度より調査を開始した。 琴南町はくり、キャベツ 塩仁町はくりなどの生産が多い。 地域内河川である土器川、 香東町およびその支流の 小河川が多数あり、利用されている。
		{ c c d b b a c c d a c c d	針 混 針 針 針 針 混 針 針 針 混			
		a	広			
		a a a d a d d	針 針 針 針 混 針 針 混			
				42	86	
				計 128		

市、町、村名	土 地 利 用								
	類 地 区 分		水 田		畑				
					普 通 畑		樹 園 地		
類地区分および包含される示性式	面 積	土地利用占有率	平 均 収穫量率	土地利用占有率	主要作物および平均 収穫量率	土地利用占有率	主要樹種および平均 収穫量率		
高 香 香 三 牟 庵 松 川 南 木 礼 治 市 町 町 町 町 町	Ⅱ 1-12	106.4	a	100					
	1-22	14.2	a						
	Ⅲ 1-13	40.7	a	98		ばか野 れん しし よよ菜		みかん	
	1-23	1.4	c						
	1-33	9.3	b						
	1-32	4.4	c		d		c		
	Ⅳ 1-14	2.5	d	99	d	ばか野 れん しし よよ菜	d	みかん かき ぶどう もも ぶどう みかん	
	1-24	5.3	d						
	1-34	14.1	d						
	1-44	82.9	d						
	1-42	6.7	d						
	1-43	6.1							
	2-33	0.5							
	2-43	0.8							
	Ⅴ 1-53	0.9					d	みかん	
	1-54	6.9							
	2-34	0.7							
	2-44	7.7	d						
	2-54	0.3							
	2-53	0.8							
Ⅵ 1-45	0.5								
1-55	0.1								
Ⅶ 1-64	0.6								
Ⅷ	26.3								
地 域 計	340.1		99				76		
志 津 度 町 町	Ⅱ 1-12	10.4	a	91					
	1-22	0.4	a						
	Ⅲ 1-13	5.8	a	87	d a a d	野かば んれ しし 菜よよ	d	ぶどう, もも みかん, ぶどう	
	1-23	0.1							
	1-33	0.5							
1-32	1.1	c							

用 の 現 況							備 考
草 地		林 地			空地その他		
土地利用 占有率	草地の種類 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	計		土地利用 占有率	
				人工林	天然林		
							<p>高松市を中心とする本県最大の平野部であり、これは扇状地と三角洲とからなっており米作地帯として知られ、その収量も多い。</p> <p>高松市は四国観光の中心地であり、古くから屋島・栗林公園で知られている。周辺の丘陵地は果樹園として利用され、みかん、桃を産する。又高松市はばれいしょ、三木町はすいか、かぼちゃ、ダイズなどの栽培が盛で、その収量も多い。</p> <p>東部の庵治町、牟礼町は良質の花崗岩石材の産地として知られる。</p> <p>地域内河川としては、香東川、春日川、新川、その外の小河川として御坊川、本津川、相引川などがある。また三郎池、神内池、奈良須池をはじめ多数の溜池があり、かんがい用に利用されている。これら地表水の他に地下水も豊富で湧水の利用が盛んである。</p>
		b c c	針 針 針				
		a a b d b d b a a	針 針 針 針 広 針 広 混 針 針				
		{ b a d c c d c d d a a	針 広 針 広 針 混 広 針 広 混 針				
		a a	針 針				
		a	針				
				30	75		
				計 105			

市、町、村 名	土 地 利							
	類 地 区 分		水 田		畑			
	類地区分お よび包含さ れる示性式	面 積	土地利用 占有率	平 均 占有率	普 通 畑		樹 園 地	
土地利用 占有率					主要作物 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	
	Ⅳ 1-14	2.2	b		d		d	ぶどう, みかん みかん
	1-24	0.8				野かば んれし	d	
	1-34	2.7					d	ぶどう
	1-44	17.1			d			
	1-42	0.7	b		c			
	1-43	1.6	c		c	菜よよ	b	ぶどう, みかん
	V 1-54	4.4			d			
	VII 1-64	0.6						
VIII	2.7							
地 域 計	51.1		90					72
引 田 町 白 鳥 町 大 内 町	II 1-12	24.9	a	88			d	みかん
	1-22	0.6	a					
	III 1-13	18.4	a	76	d	ば野 れし よ菜		
	1-23	0.3			d			
	1-33	1.9						
	1-32	0.9						
	IV 1-14	1.8			c	ば野 れし よ菜		
	1-24	3.3			c			
	1-34	2.3						
	1-42	5.2	c		d		d	みかん, かき
	1-43	18.4	d				d	みかん, かき
	1-44	33.2			d			
	2-33	0.7						
	2-42	0.6						
	2-43	3.4						
V 1-52	0.3							
1-53	12.0							
1-54	12.0							
2-53	5.2							

用 の 現 況							備 考
草 地		林 地			空地その他		
土地利用 占有 率	草地の種類 および平均 収穫量率	土地利用 占有 率	主要樹種 および平均 収穫量率	計		土地利用 占有 率	
				人工林	天然林		
		c a a a	針 針 針 針				<p>平野部は水田周辺の丘陵地は果樹園として利用され、ぶどう、みかんの栽培が盛んである。とくに志度町はぶどうの生産が著しい。</p> <p>地域内河川としては、鴨部川および津田川があり、利用されている。</p>
		a	針				
		a	針				
				5	20		
				計 25			
							<p>本県東部の臨海地域の水田地帯で、水稻の栽培を主とする。白鳥南部の五名地区は、山地地域で林業を主とする。又大内町はみかん、白鳥町はきゅうり、すいかなどの栽培が盛んである。</p> <p>白鳥町は古くから手袋工業が盛んで、日本有数の生産をほこっている。引田町の安戸池は、瀬戸内海における栽培漁業の発祥地として名高い。</p> <p>地域内河川としては、湊川、馬宿川およびその支流小河川があり又溜池も多数あり、かんがい用に利用されている。</p>
		a c d c c c	針 針 混 広 針 広 混				
		b b a d d d b c d b d d a a a d d	針 針 針 針 混 針 混 広 針 広 混 針 針 針 針 針 針 混				
		a b c d a a d d	針 針 混 針 針 針 針 混				

市、町、村 名	類地区分 類地区分お よび包含さ れる示性式 面積		土 地 利					
			水 田		畑			
			土地利用 占有率	平 均 占有率	普 通 畑		樹 園 地	
					土地利用 占有率	主要作物 および平均 収獲量率	土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収獲量率
	2-54	1.2						
	2-44	0.8						
	VI 2-55	0.1						
	VII 1-62	0.1						
	1-63	1.4						
	1-64	0.1						
	2-63	0.4						
	2-64	0.8						
	VIII	4.4						
	地 域 計	154.7		82				73
大 寒 川 町 長 尾 町	II 1-12	14.0	a	95				
	1-22	1.9	a					
	III 1-13	8.7	a	91				
	1-23	1.0	a					
	1-33	1.6	c			野菜	d	ぶどう, もも みかん
	1-32	2.7	c		d		d	ぶどう, もも みかん
	IV 1-14	0.5	c					
	1-24	2.4	c		d	野菜	d	みかん, もも ぶどう, みかん
	1-34	4.3					c	
	1-44	37.9	d		d		d	ぶどう, もも
	1-43	4.3						
	1-42	3.1	b					
	2-42	0.3	a		c			
	2-43	0.7						
	V 1-53	0.5						
1-54	5.6			d	野菜			
2-44	2.5							
2-53	0.2							
2-54	4.0							

用 の 現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他 土 地 利 用 占 有 率	
土 地 利 用 占 有 率	草地の種類 および平均 収穫量率	土 地 利 用 占 有 率	主要樹種 および平均 収穫量率	計			
				人工林	天然林		
		{ b c c b c	針 広 混 広 混				香川県東部の高松市近郊の田園地域で、稲作が盛んである。山地部では林業、丘陵地では果樹即ちみかん、ぶどうの栽培がみられる。 長尾町では、くりの生産も多い。地域内河川としては、新川、鴨部川およびその支流小河川がある。又男井間池、山大寺池など多数の溜池があり、かんがい用に利用されている。
		a	針				
		{ a d a a c c c	針 針 混 針 針 針 針 広 混				
				41	63		
				計 104			
		{ d b d c c	針 針 広 針 広				
		{ b b c c b c d a d d c c b c	針 針 針 混 針 混 混 広 針 広 混 針 針 混				
		{ a a b c a b c	針 針 針 広 針 針 混				

市、町、村 名	類地区分		土 地 利					
			水 田		畑			
	類地区分および包含される示性式	面 積	土地利用	平 均	土地利用	主要作物	土地利用	主要樹種
			占有率	収穫量率	占有率	および平均 収穫量率	占有率	および平均 収穫量率
島しょ部	Ⅶ 1-64	0.6			d			
	2-64	3.9						
	Ⅶ	3.0						
	地 域 計	103.7		94				72
	Ⅱ 1-12	11.5	a	94				
	1-22	0.3	a					
	Ⅲ 1-13	4.9	d		c	かば野	d	みかん
	1-32	1.5			a	んれ		
	1-33	2.2			a	しし		
						よよ菜		
	Ⅳ 1-14	8.0			c			
	1-24	1.4						
	1-34	5.9						
	1-42	2.4			a	かば野	d	みかん
	1-43	12.4	d		c	んれ	d	みかん
						しし		
						よよ菜		
	1-44	140.0			d		d	みかん
	2-42	0.6						
	2-43	10.1			d			
2-33	0.3							
Ⅴ 1-52	0.8			b				
1-53	2.0			d				
1-54	17.0							
2-53	1.7							
Ⅵ 1-45	0.8			d				
1-55	0.2				かば野			
					んれ			
2-35	0.1				しし			
2-45	0.7				よよ菜			
2-55	1.1							
Ⅶ 1-62	0.1							
1-62	0.8							
1-64	2.5							
2-63	0.9							
2-65	0.5							
Ⅷ	1.1							
地 域 計	231.8		93				90	

用 の 現 況							備 考
草 地		林 地			空地その他		
土地利用 占有 率	草地の種類 および平均 収穫量率	土地利用 占有 率	主要樹種 および平均 収穫量率	計		土 地 利 用 占 有 率	
				人口林	天然林		
		a a	針 針				<p>小豆島をはじめ直島諸島、塩飽諸島からなり、比較的大きい島として小豆島、豊島、直島、女木島、男木島、本島、広島、手島などがあげられる。これらの各島は昔から花崗岩など石材の産地として知られている。小豆島は紅葉景勝地として有名である。又わが国有数の醤油の生産地でもある。直島は製練所の島として知られている。水田は一般に少く、海岸の低位部に分布するにすぎない。畑地は割合多く、かんしょ、ばれいしょの栽培が盛んである。</p> <p>小豆島、豊島ではみかんの栽培も行なわれ、一部にリンゴ、オリーブ、花奔類栽培もみられる。</p> <p>小豆島を除いて、各島内には河川も少なく、小河川の水の利用が大部分で、一部では天水の利用もある。</p>
				35	26		
				計 61			
		c	針				
		b a a	針 針 針				
		{ d d a a a d a	針 広 混 針 針 針 針 広 針				
		b a a a	広 針 針 針				
		{ a b b a d a d b c	針 針 広 針 広 針 針 針 針 広				
		a a a a a	針 針 針 針 針				
				40	124		
				計 164			

1973年3月 印刷発行

縮尺 20 万分の 1

土地分類図付属資料

香 川 県

編集発行 経済企画庁総合開発局国土調査課

印 刷 阿 部 写 真 印 刷 株 式 会 社
東京都港区高輪一丁目二番十三号

